

令和8年 第3回 区づくり推進横浜市会議員会議（神奈川区）

日 時 令和8年9月3日（木）

午前 10 時から

場 所 本館5階大会議室

次 第

1 開 会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 題

（1）令和7年度 神奈川区個性ある区づくり推進費決算状況について

（2）令和8年度 神奈川区個性ある区づくり推進費執行状況について

（3）令和9年度 神奈川区区づくり予算編成の基本的考え方（案）について

5 閉 会

令和8年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

令和7年度 個性ある区づくり推進費

決算状況



令和8年9月3日

神 奈 川 区

目 次

ページ

1	令和7年度 神奈川区個性ある区づくり推進費決算調書	1
2	令和7年度 神奈川区自主企画事業実績	3
3	自主企画事業以外で実施した主な事業	31

1 令和7年度 神奈川区個性ある区づくり推進費決算調書

1 区分別総括表

(単位：円)

区 分	当初予算額 (A)	現計予算額 (B)	決算額 (C)	差 引 (B－C)
ア 自主企画事業費	106,415,000	106,415,000	101,689,772	4,725,228
イ 統合事務事業費	51,342,000	51,342,000	49,730,519	1,611,481
(ア) 統合事務費	29,488,000	29,488,000	28,756,125	731,875
(イ) 統合事業費	21,854,000	21,854,000	20,974,394	879,606
ウ 区庁舎・区民利用施設管理費	673,872,000	686,812,000 ^(※)	684,266,302	2,545,698
合 計	831,629,000	844,569,000	835,686,593	8,882,407

(※) 物価・賃金水準変動に伴う区民利用施設指定管理料について、補正を行いました。

《執行率 98.9%》

2 内 訳

(1) 自主企画事業費 101,689,772円 (予算額 106,415,000円) 差引 4,725,228円

(単位：円)

区 分	当初予算額 (A)	現計予算額 (B)	決算額 (C)	差 引 (B－C)	主な事業
3つの施策					
I 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり	21,210,000	21,210,000	18,082,794	3,127,206	・かながわ子育てかめっ子支援事業 ・高齢者支援事業 ・障害者支援事業 ・かながわ健康づくり応援事業 ほか
II 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり	40,135,000	40,135,000	37,922,762	2,212,238	・地域福祉保健活動推進・支援事業 ・地域力アップ推進事業、 ・花と緑あふれるまちづくり事業 ・チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり ・かながわ脱炭素化推進事業 ほか
III 安全・安心なまちづくり	31,735,000	31,735,000	29,864,796	1,870,204	・地域防災力向上事業 ほか
IV 信頼される区役所づくり	13,335,000	13,335,000	15,819,420	△ 2,484,420	
合 計	106,415,000	106,415,000	101,689,772	4,725,228	

(2) 統合事務事業費 49,730,519円 (予算額 51,342,000円) 差引 1,611,481円

(単位：円)

	当初予算額 (A)	現計予算額 (B)	決算額 (C)	差 引 (B－C)	備考
統合事務費	29,488,000	29,488,000	28,756,125	731,875	生活保護や戸籍・住民登録等に係る事務費
統合事業費	21,854,000	21,854,000	20,974,394	879,606	広報よこはま神奈川区版の発行や市民相談、各種委員の活動支援等
	51,342,000	51,342,000	49,730,519	1,611,481	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 684,266,302円 (予算額 686,812,000円) 差引 2,545,698円

(単位：円)

	当初予算額 (A)	現計予算額 (B)	決算額 (C)	差 引 (B－C)	備考
1 区庁舎等	98,793,000	98,793,000	95,680,491	3,112,509	
2 土木事務所	10,283,000	10,283,000	10,363,873	△ 80,873	
3 公会堂	38,768,000	39,698,000	39,688,000	10,000	
4 地区センター等	217,043,000	222,238,000	222,180,000	58,000	地区センター、集会所、スポーツ会館
5 ログハウス	9,216,000	9,333,000	9,333,000	0	
6 区民文化センター	124,708,000	128,998,000	128,961,000	37,000	
7 老人福祉センター	28,074,000	28,529,000	28,518,000	11,000	
8 コミュニティハウス	56,667,000	57,060,000	56,975,460	84,540	
9 スポーツセンター	52,436,000	53,996,000	53,900,318	95,682	
10 広場・遊び場	1,368,000	1,368,000	790,770	577,230	子どもの遊び場、町のはらっぱ
11 国際交流ラウンジ	28,408,000	28,408,000	28,407,660	340	
12 区庁舎・区民利用施設修繕費	8,108,000	8,108,000	9,467,730	△ 1,359,730	
	673,872,000	686,812,000	684,266,302	2,545,698	

2 令和7年度 神奈川区自主企画事業実績

(単位：円)

No.	事業名	現計予算額	決算額	差引	所管課	重点	頁
I 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり							
1	かながわ子育てかめっ子支援事業	3,856,000	3,201,262	654,738	こども家庭支援課	★	4
2	高齢者支援事業	3,019,000	2,734,665	284,335	高齢・障害支援課	★	5
3	障害者支援事業	1,543,000	1,394,951	148,049		★	6
4	かながわ健康づくり応援事業	2,194,000	2,007,816	186,184	福祉保健課	★	7
5	かながわ安心子育て支援事業	2,351,000	1,624,465	726,535	こども家庭支援課		8
6	市立保育所地域交流事業	1,693,000	1,527,441	165,559			9
7	放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業	382,000	140,920	241,080			10
8	民生委員・児童委員活動支援事業	998,000	993,548	4,452	福祉保健課		11
9	ふれあい活動支援事業	2,014,000	1,439,400	574,600			11
10	地域活動支援事業	3,160,000	3,018,326	141,674	地域振興課		12
小計		21,210,000	18,082,794	3,127,206			
II 地域がつながり魅力にあふれるまちづくり							
11	地域福祉保健活動推進・支援事業	4,572,000	4,304,938	267,062	福祉保健課	★	13
12	地域力アップ推進事業	2,600,000	2,637,629	△ 37,629	区政推進課、地域振興課	★	14
13	花と緑あふれるまちづくり事業	4,977,000	4,260,461	716,539	土木事務所	★	15
14	チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり	2,820,000	3,110,810	△ 290,810	地域振興課	★	16
15	かながわ脱炭素化推進事業	1,844,000	1,675,078	168,922	区政推進課	★	17
16	神奈川区制100周年事業	1,200,000	1,187,773	12,227			17
17	情報・魅力発信事業	4,204,000	3,885,463	318,537			18
18	まちづくり推進事業	3,666,000	3,317,937	348,063			18
19	わが町かながわ商店街魅力発信事業	1,930,000	1,640,699	289,301	地域振興課		19
20	神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業	1,920,000	2,036,167	△ 116,167			20
21	神奈川区民まつり事業	4,000,000	4,000,000	0			20
22	区民活動・生涯学習支援事業	6,188,000	5,658,054	529,946			21
23	動物適正飼育推進事業	214,000	207,753	6,247	生活衛生課		23
小計		40,135,000	37,922,762	2,212,238			
III 安全・安心なまちづくり							
24	地域防災力向上事業	23,200,000	21,355,139	1,844,861	総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課	★	24
25	神奈川区防犯対策事業	3,801,000	3,798,949	2,051	地域振興課		28
26	交通安全対策事業	4,734,000	4,710,708	23,292	地域振興課、土木事務所		29
小計		31,735,000	29,864,796	1,870,204			
IV 信頼される区役所づくり							
27	かながわデジタル推進事業	4,344,000	5,011,260	△ 667,260	総務課		30
28	チーム神奈川おもてなし向上事業	8,991,000	10,808,160	△ 1,817,160			30
小計		13,335,000	15,819,420	△ 2,484,420			
合計		106,415,000	101,689,772	4,725,228			

1 かながわ子育てかめっ子支援事業 3,201,262円(予算額 3,856,000円) ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行いました。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場「すくすくかめっ子」を引き続き支援し、25周年を迎えたことによる記念事業等を通じて活動の活性化と子育て世代の認知度向上に取り組みしました。

(1) すくすくかめっ子事業

地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、
担い手同士の交流(47会場)

ア 25周年記念事業

記念フォーラムの実施(1月25日、153人)と
記念誌の発行(8,500部)

イ 担い手の確保に向けたパマトコや広報よこはま神奈川
区版での情報発信

ウ 全体交流会(6月30日、55人)

エ 方面別交流会(4回:①8月22日、②8月28日、③9月29日、④9月30日、延べ79人)



【すくすくかめっ子25周年記念フォーラム】

(2) 土曜日両親教室

出産と育児に関する具体的な準備やイメージづくり、
必要な知識に関する講話、先輩パパママの体験談等
(全12回:288組562人)



【土曜日両親教室】

(3) 赤ちゃんふれあい学級

区内中学校の生徒を対象に、思春期の性や自分の将来に
ついて考える包括的性教育を実施

(3校:松本中学校、神奈川中学校、菅田中学校)

(4) 養育ネットワーク事業

0歳児とその養育者を対象に地域育児教室を実施
(12会場で各10回:延べ1,120組)

(5) 子育て情報提供事業

子育て世帯に必要な情報を提供

ア 子育て応援マップ「親子でおでかけマップ」(5,500部)

掲載内容・デザインを見直し、エリアの情報が見やすい
ように冊子形態へリニューアルし、発行

イ 誤飲予防啓発うちわ(1,800枚)



【「親子でおでかけマップ」表紙】

2 高齢者支援事業 2,734,665円（予算額 3,019,000円） ☆重点事業

高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、健康維持に取り組む介護予防を進めました。また、認知症の人やその家族が自分らしく暮らしていけるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。

高齢者にとっても、あらゆる世代の方々にとっても住み続けたいまちとして、見守りネットワークを各地域で醸成し、地域包括ケアシステムを推進しました。

(1) 介護予防普及啓発事業

高齢化の進行と要介護認定者数のさらなる増加が予測される中、より多くの区民の皆様が介護予防への関心を高めていけるよう取り組みました。

ア 民間企業との連携によるフレイル予防講座を開催（野菜摂取量などの測定及び専門家によるアドバイス）

「フレイル」…「健康」と「要介護状態」の“中間の状態”で、早く気付いて予防することで、状態の維持・改善が期待できる

（年4回：

- ① 6月30日、イオンスタイル東神奈川、191人
- ② 10月30日、イオンスタイル東神奈川、146人
- ③ 11月28日、YNU BASE HAZAWA、55人
- ④ 2月9日、区役所、86人）



【イオンスタイル東神奈川で行われたフレイル予防体験イベント】

イ 神奈川区オリジナル介護予防体操「かめ亀手ぬぐいサイズ」の活用普及（普及啓発団体数：29団体）

ウ 普及啓発物品「かめ亀手ぬぐい」の配布（配布数：579枚）

(2) 認知症高齢者支援事業

認知症になっても安心して暮らせるよう、地域の人材育成や認知症についての普及啓発を進めました。また、認知症高齢者の介護者を支援しました。

ア 神奈川区認知症高齢者みまもり協力店（244事業所）の普及展開・登録勧奨（通年）

イ 動画等による認知症に関する理解促進の取組

（動画普及啓発チラシの作成と配布：3,000枚）

ウ 高齢者向け「みまもりキーホルダー」の配布（交付数：227個）

エ 介護者の介護不安を軽減するため、公認心理師によるカウンセリングを実施（年10回：18枠）

オ 認知症月間神奈川区特別企画 講演会（9月23日、神奈川公会堂、285人）



【みまもり協力店の目印となるステッカー】

(3) 地域包括ケア推進事業

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた神奈川区アクションプランを推進するため、引き続き、重点テーマである「見守り」の体制強化に向けて取り組みました。

「地域包括ケアシステム」…高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために、住まいを中心に、介護、医療、生活支援・介護予防が一体的に提供される日常生活圏域ごとの包括的な支援・サービスの提供体制のこと

見守り体制強化に向けた地域ケア会議連絡会

（全2回：① 5月27日 29人、② 3月17日 29人）

3 障害者支援事業 1,394,951円（予算額 1,543,000円） ☆重点事業

高齢・障害支援課

自立支援協議会や神奈川区障害者地域作業所連絡会等と連携しながら、障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、障害児者の理解を深める普及啓発や自主製品販売の促進に取り組みました。

(1) 障害者地域作業所等の活動支援

ア 花のデリバリー

活動場所でアレンジメントした生花の
区役所窓口への配達業務委託
(年48週実施)



【区民まつりでの啓発】



【窓口に設置された生花】

イ 障害者地域作業所等の活動支援

- (ア) 市営バス車内のデジタルサイネージを活用し、
障害者週間等に障害者理解促進の啓発映像を放映（12月）
- (イ) 神奈川区民まつりでの出店による啓発（10月12日）



【デジタルサイネージ
「知ることからはじめよう ヘルプマーク」】

(2) 障害者地域生活支援事業

地域生活を考えるきっかけづくりとなるリーフレット
「わたしの暮らし はじめます」の作成（12月、2,000部）



【リーフレット】

(3) 関係機関との連携支援

精神保健福祉関係者を対象とした支援技術向上研修の開催
(3月3日「支援者のメンタルヘルスと精神障害の理解について」、50人)

(4) ひきこもり状態にある人への支援

ひきこもり状態にある人の理解と支援を考える講習会の開催
(11月11日「ひきこもり支援のための講演会」、36人)



【ひきこもり支援のための講演会】

4 かながわ健康づくり応援事業 2,007,816円（予算額 2,194,000円）☆重点事業

福祉保健課

区民の健康寿命の延伸に向けて、世代や性別を問わず、区民に向けた健康啓発や行動変容を促すきっかけづくりを行いました。区民が身近な場で健康づくりに取り組むことができるよう、健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を図り、地域関係団体等と連携しながら活動を展開しました。

(1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業（保健活動推進員、食生活等改善推進員等と協働）

ア ウォーキングマップの改訂

ウォーキングスタッフと協働し、区内6エリアのうち、2エリアのウォーキングマップを改訂（3月）

イ 各種ウォーキングイベント

ウォーキングスタッフを対象とした研修（2月）、ウォーキングイベント「チャレンジ！秋のさわやかウォーキング」（9月8日～10月5日、延べ2,265人）、ウォーキングスタッフへの活動支援（通年）



【ウォーキングマップ及びイベント配布グッズ】

(2) 健康づくり推進事業

ア 働き・子育て世代の健康づくり

健康チェック・健康相談（年9回：延べ241人）
や両親教室（年36回：延べ683人）を通じた健康的な生活習慣の啓発を実施

イ 地域における健康づくり活動の支援

歯周病予防・オーラルフレイル予防をテーマとした歯科出前講座の開催（年7回：延べ122人）

オーラルフレイル…滑舌の低下、わずかな「むせ」など、些細な口の機能の衰えの症状が現れている状態



【健康チェック】

(3) 食育普及事業

ア 保育園、小中学校等との連携による食育推進
栄養士、養護教諭等が各々の取組を共有する連絡会（年2回）、食育展（6月9日～20日）の実施

イ 食育関連講座

(ア) 学校等との協働による出前食育講座を実施（年4回：延べ116人）

(イ) ヘルスメイト等との協働による食育の普及（年5回（かながわ野菜市や各種イベントでの出展等）：延べ667人）

(ウ) 3歳児健康診査での食育ミニ講座（年24回：延べ1,130組）



【食育展での展示】

5 かながわ安心子育て支援事業 1,624,465円（予算額 2,351,000円）

こども家庭支援課

育児に不安を抱える養育者等に対し、アウトリーチ型の支援の強化や、個別の訪問・面接の対応を充実させ、孤立化の防止や虐待の予防につなげました。また、職員一人ひとりのソーシャルワークを向上させ、複雑化していく事例への対応力を強化しました。

(1) 児童虐待防止対策事業

乳幼児健康診査の未受診者、第1子を対象とした新生児訪問に加え、不安の強い第2子以降への電話、家庭訪問等のきめ細やかな支援を行い虐待リスクに対して未然のケアを行う。電話、訪問等のきめ細やかな支援（訪問件数：28件）

(2) ファミリーサポート事業

養育に不安を抱える方に対し、個別カウンセリングを行うことで保護者の育児不安を解消し、児童虐待を予防（延べ18人）

(3) ひとり親家庭相談支援事業

ひとり親世帯を対象に、経済的な困窮や子どもの教育など家庭全般の悩みを受け止める相談支援を実施（年48回）

(4) 虐待・DV対応に関わる対応力強化

複雑で重篤な児童虐待事例やDV事例の増加に対応するため、スーパーバイザーを招き、専門職が対応に苦慮している事例の検討会や個別相談等を実施

ア 虐待・DV事例のスーパーバイズ

（年2回：①1月23日 29人、②1月30日 11人）

イ 虐待・DV事例の法律相談

（年6回：①5月12日、②7月7日、③9月11日、④11月10日、⑤1月19日、
⑥3月1日）

6 市立保育所地域交流事業 1,527,441円（予算額 1,693,000円）

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施しました。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行いました。さらに、民間保育所も含めた区内の保育所の連携を強化し、保育の質の向上を図りました。

(1) 食育推進事業

入所児童の保護者を対象に給食試食（3園：延べ177人）、地域の親子を対象にランチ交流（3園：延べ93人）を実施しました。



【地域の親子を対象にしたランチ交流】

(2) 地域交流事業

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施しました。
（3園：延べ110人）

(3) 保育施設等情報パンフレット配布

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成し配布しました。（10,000部）

(4) 保育園連携強化事業

民間保育所も含めた区内の保育所の連携を強化するため、合同園長会等を行い、保育の質の向上を図りました。（年4回：①5月、②8月、③10月、④2月）

(5) 防災意識向上推進事業

子どもたちが防災を学べる教材「てくてくまっち®」を作成（50部）するとともに、市立保育所が開催するまち歩きへの参加を民間園職員へ呼びかけ、職員や未就学児等の防災意識強化を図りました。

「てくてくまっち®」…神奈川区と横浜市立大学等が協働で開発した、乳幼児期の子どもと施設の職員が日常の活動の延長線上で防災・減災の視点からまちの資源と活用方法を学べる教材

7 放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業 140,920円（予算額 382,000円）

こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブの現場職員等を対象に、各クラブの人材育成を図るとともに、クラブ相互の連携と安定運営を促進し、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを実現するため、各種研修を実施しました。

(1) 放課後関連運営主体・職員等対象研修

各クラブの人材育成を図るとともに、クラブ相互の連携と安定運営を促進し、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを実現するため、各種研修を実施しました。

ア 集合研修

研修テーマ	実施日	参加者数
児童虐待への対応方法	7月4日	41人
普通救命講習	10月7日	32人
クラブの安全対策（事故対応編）	12月22日	31人
クラブの安全対策（災害対応編）	3月4日	19人

イ 出前研修

研修テーマ	実施クラブ	実施日	参加者数
障害児理解	子安小学校放課後キッズクラブ	11月14日	34人

【放課後児童健全育成事業クラブ数（令和8年3月末時点）】

放課後キッズクラブ18か所、放課後児童クラブ17か所

8 民生委員・児童委員活動支援事業 993,548円（予算額 998,000円）

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりを推進しました。

(1) 訪問活動の支援

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための訪問活動用物品を配布（持ち手付ポリ袋（5枚入）8,500世帯分）

9 ふれあい活動支援事業 1,439,400円（予算額 2,014,000円）

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が主体となり実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を、神奈川区社会福祉協議会との連携により支援しました。

(1) 全体研修会

ふれあい活動員全員を対象とする研修会

テーマ「孤立を防ぐ！仲間を増やす！」（11月、207人）

(2) ふれあい活動支援

ふれあい活動支援補助金の交付（16地区）



【ふれあい活動全体研修会】

10 地域活動支援事業 3,018,326円（予算額 3,160,000円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行いました。

(1) 自治会町内会長感謝会

ア 区政・市政への運営協力に対し

感謝の意を表するため年1回実施（2月27日）

イ 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施
（2月27日）



【神奈川区自治会町内会長感謝会】

(2) 自治会町内会活動支援事業

自治会町内会配送業務

各自治会町内会に月1回（8月、12月を除く）会長あての資料や掲出依頼物などを配送

(3) 自治会町内会加入促進事業

ア 加入促進のチラシ（3,600枚）や啓発グッズを転入者セットとして配布、また地区連合の自主イベント等における参加者配布用に提供

イ 自治会町内会加入促進として横浜市電子申請・届出システムを活用した支援



11 地域福祉保健活動推進・支援事業 4,304,938円（予算額 4,572,000円） ☆重点事業

福祉保健課

かながわ支え愛プラン（第4期神奈川区地域福祉保健計画）の最終年度として、これまでの取組の振り返りや課題の整理を行いました。

かながわ支え愛プラン策定・推進会議委員のご意見、区計画中間振り返りの内容等を踏まえて令和8年度から令和12年度を計画期間とするかながわ支え愛プラン（第5期神奈川区地域福祉保健計画）を策定しました。

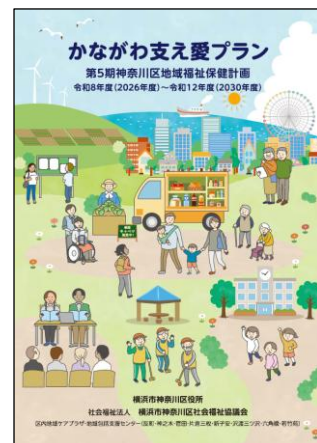
(1) 区計画の推進及び策定

ア 区計画の周知

- (ア) ホームページ上の特設サイトや地域情報誌において、動画や写真を活用した地域活動を広報
- (イ) 小中学校での出前教室等による計画の普及啓発強化
幸ヶ谷小学校（5月）、羽沢小学校（5月）、
大口台小学校（9月）、神橋小学校（11月）

イ 区計画の推進及び策定

- (ア) 区計画の推進及び策定に向けた意見交換の場となる
「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」の開催
（年2回：①7月、②1月）
- (イ) 計画策定アドバイザーを活用した推進（12月）
- (ウ) 計画素案に対する区民意見募集の実施（8月）
- (エ) 区計画の推進（通年）、策定（3月）



【かながわ支え愛プラン
（第5期神奈川区地域福祉保健計画）】



【かながわ支え愛プラン
HPのQRコード】

(2) 地区別計画の推進及び策定

- ア 地域活動を推進するための研修会へのアドバイザー派遣（12月）
- イ 地域別グループ（区・区社協・地域ケアプラザ）による地区支援（通年）
- ウ 各地区において、取組の達成度合いや課題を共有し、今後の進め方について話し合う
地区別計画推進会議などの開催を支援（通年）
- エ 各地区取組の全体発表会「みんながつながるまちのつどい」の開催（2月、約200人）
- オ 地区別計画の策定（3月）

12 地域力アップ推進事業 2,637,629円（予算額 2,600,000円） ☆重点事業

区政推進課

地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため、人材を育て、地域活動を支援しました。

(1) 地域づくり大学校支援事業

自治会町内会等の地域団体による活動の体験型講座を加えるなど一部内容を見直し、地域活動を担う人材の育成に取り組みました。令和7年度から名称を「神奈川区つながりまちづくり学校」として実施しました。

また、卒業生を対象に新たな取組への補助を行いました。

（令和7年度卒業生：19人）



【つながりまちづくり学校】

ア 連続講座の実施

（全5回：①10月19日、②11月16日、③12月21日、④1月18日、⑤2月15日）

（現場体験 受け入れ団体：10月～12月、10団体）

ホームページへの講座報告の掲載（5回）

交流会の開催（全2回：①11月16日、②2月15日）

イ かながわ地域支援補助金事業

（地域づくり大学校卒業生支援コース 新規3団体、継続2団体）

(2) 自治会町内会ICT支援事業

自治会町内会等の皆様に向けて、現在の地域課題やデジタルツール活用による解決の可能性を学ぶとともに、自治会町内会同士の交流機会となる連続講座を開講しました。

ア デジタルツールの紹介、体験談や先進事例の共有を含む連続講座の開催

（全2回：①8月24日、②9月6日、14自治会）



【自治会町内会ICT支援事業での講座】

イ デジタルツールの導入を希望する地域へのアドバイザー派遣

（対象：5自治会町内会、11月～12月）

(3) 区民協議会支援事業

区民自ら地域の課題を知り、その解決に向けて自主的に活動している区民協議会の活動報告に対して支援を行いました。

6月16日 総会で区民協議会の解散を決定

6月28日 第21期区民のつどいでこれまでの歩みと活動の成果を報告（150人）

13 花と緑あふれるまちづくり事業 4,260,461円（予算額 4,977,000円） ☆重点事業

土木事務所

子育てしたいまちづくりや横浜グリーンエクスポの開催に向けた機運醸成を図るため、道路・河川・公園・緑地等を管理するボランティア団体と協働し花や緑あふれるまちづくりを進めました。

また、公園や愛護会活動のホームページやSNSによる広報、子どもと愛護会が連携した花壇づくり、ボランティア団体相互の交流などを拡充、促進し、区民が公園等で花や緑に触れる機会を増やすとともに、ボランティア団体の新たな担い手の確保、活動の活性化につなげました。

(1) 花苗・球根の配布

ボランティア団体と協働で花苗・球根の植栽や花壇を整備し、公共施設の維持管理に多くの区民が積極的に関わる機会をつくりました。

ア ボランティア団体（公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーター）への花苗や球根の配布
配布時期：5月22・23日、10月23・24日、11月7日
配布実績：花苗11,568株（136団体）

球根23,460球（138団体）

※令和6年度実績：花苗9,576株、球根7,400球



【公園花壇（六角橋四丁目公園）】

(2) 公園及び愛護会活動のPR

公園や愛護会活動のPR及び子どもと愛護会が連携した花壇づくり等により、公園利用や花と緑に触れる機会を増やし、愛護会活動の新たな担い手の確保につなげました。

ア ホームページの公園マップに、各公園の景観や愛護会活動の様子等を掲載し、コンテンツを拡充しました。また、SNSで各公園の魅力を発信しました。



【愛護会と小学生の連携（打越公園）】

イ 令和5年度から実施している公園愛護会と小学校等が連携した花壇づくりについて、区内の新たな地域で、外部講師による花や緑に関する専門的な出前授業等を、拡充して開催しました。

青木小学校：

社会学習の一環で反町公園での花壇づくりの検討、植付（9～11月）

菅田の丘小学校：

SDGs教育の一環でコンポストを用いた堆肥の作成、花壇づくり（5月～11月）

(3) ボランティア団体の交流の促進

ボランティア団体の育成や活動の活性化を促進しました。

ア ボランティア団体相互の好事例の共有、講習による技術やモチベーションの向上、土木事務所との連携強化を目的とした交流会を実施しました。（1月7日）

14 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり

3,110,810円（予算額 2,820,000円）☆重点事業 地域振興課

SDGsの達成や脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の少ない持続可能な社会を作るため、ごみと資源の分別徹底及びプラスチック対策、食品ロス削減等の3Rを推進しました。

また、「清潔できれいなまち神奈川区」を目指すため、ポイ捨て禁止啓発、不法投棄防止の取組、地域清掃活動の支援を実施しました。

(1) 3R啓発事業

ア 地域まつり等での啓発

イベント（12回：①6月14日、イオンスタイル東神奈川 ほか11回）

説明会等（6回：①5月21日、環境事業推進委員連絡協議会 ほか5回）

イ 子育て世代や学生等の対象者に合わせた啓発

ウ 保育園や小学校等での出前授業（8回：小学校6回・保育園2回、延べ590人）

エ 広報よこはま神奈川区版・ホームページ等を活用した啓発（4回：8月ほか）

オ 功労者の表彰（6月18日：個人8名、団体1団体）

カ フードドライブの推進（18,110点 2857.4kg）

キ リュース文庫コーナーの管理運営（配架1,190冊）

(2) 地域美化活動支援事業

ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援

清掃用具貸出（35件）、地域清掃への参加（50回）

イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」

地域、学校、事業者と協働で実施

（9月24日、1,962人）

- ・会場：イオンスタイル東神奈川、オルトヨコハマ、羽沢横浜国大駅前、神奈川大学横浜キャンパス
- ・若い世代の意識醸成

（大学生の参加（横浜国立大学、神奈川大学））

ウ 重点エリアのポイ捨て・環境美化の推進（通年）

新子安駅周辺の対策強化

資源循環局、健康福祉局と連携しパトロール強化を実施

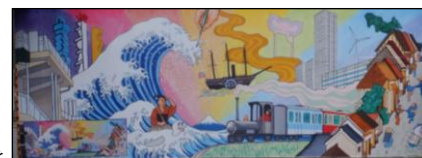
- ・地域、地元企業と連携した清掃・啓発活動の拡充（11月5日、2月4日）
- ・壁画の掲出等による周辺環境の改善

エ 喫煙禁止地区（東神奈川駅周辺）における地域と連携した啓発（4回）

オ 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発
（2駅：片倉町駅 3回・大口駅 6回）



【わが町かながわマナー違反一掃作戦】



【新子安駅脇壁画「神奈川宿2027」】

(3) 不法投棄防止対策事業

ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）

イ 地域と連携した不法投棄への対応（不法投棄撤去の要望365件 11.5t回収）

15 かながわ脱炭素化推進事業 1,675,078円（予算額 1,844,000円）☆重点事業

区政推進課

横浜市中期計画（2022-2025）基本戦略3「Zero Carbon Yokohamaの実現」に向けて、区民に環境行動の重要性を啓発するとともに、脱炭素ライフスタイルへの行動変容を促す取組を推進しました。

(1) 脱炭素ライフスタイル啓発事業

ア 脱炭素ライフスタイル講座

神奈川大学との連携による子ども向け啓発イベント実施

- ・ソーラーカー工作ワークショップ（8月16日、13組26人）
- ・こけ玉づくりワークショップ（8月16日、11組22人）

イ SDGsをテーマとした区内企業の取組紹介ツール更新・活用促進

ウ 神奈川区民まつりで脱炭素の行動変容の啓発を実施（10月12日）

- ・脱炭素の取組を発信するエリア（GO GREENエリア）の設置
- ・CO2排出量の見える化ツール（デカボm y スコア）

を活用した啓発ブースを設置し、ステージ企画

（フリ丸と挑戦！ GO GREEN ○×クイズ）等と合わせて来場者へ啓発を実施（デカボm y スコアの計測者数及びステージ参加者数、延べ約600人）

- ・電気自動車からステージ等の電力を給電



【神奈川区民まつりでのステージ企画】

エ 地域情報ウェブサイトへの脱炭素ライフスタイル啓発記事の掲載

（2回：①2月、②3月）

オ ECOパートナー協定に基づく横浜FCとの協働事業の実施

（8月30日、かながわ区民DAY・ECOパートナーDAY出展）

(2) 地産地消推進事業

ア 区内産野菜等の出張販売の実施

協力：JA横浜メルカートかながわ

（3回：①5月12日 192人、②8月30日 46人、
③11月13日 150人）

- ・野菜、花苗の販売
- ・直売所マップやレシピ集などを活用した地産地消の情報発信



【区役所での区内産野菜等の出張販売】

イ 広報よこはま神奈川区版での神奈川区内地産地消サポート店の紹介（11月）

16 神奈川区制100周年事業 1,187,773円（予算額 1,200,000円）

区政推進課

令和9年（2027年）の区制100周年に向けて、記念事業実施に向けた準備及び機運醸成に取り組みました。（準備会設置：5月16日、実行委員会設置：11月18日）

- ・区制100周年区民アンケート（6月25日～8月31日）
- ・区制100周年記念ロゴマークの作成

候補作品選出（11月18日）、区民投票（12月22日～1月31日）、決定（3月18日）

17 情報・魅力発信事業 3,885,463円（予算額 4,204,000円）

区政推進課

区の実行や区政情報を、各種媒体を使って効果的に発信しました。また、区内の様々な資源を活用し、神奈川区の魅力を創出・発信しました。

(1) 各種媒体の特性を活かした情報発信

ホームページ、X（旧Twitter）、屋外看板や庁内モニター等、媒体の特性を活かした情報発信

(2) 区のマスコットキャラクター・区の花の活用

神奈川区のマスコットキャラクターや区の花を広報やその他の場面で活用し、親しみやすさにつなげました。

ア 区のマスコットキャラクター活用事業

(ア) 「かめ太郎」の着ぐるみ貸出・イラスト(素材)の提供
バルーンタイプの着ぐるみを作成

(イ) 区の魅力PR用物品の制作

イ 区の花チューリップいっぱい事業

(ア) 区の花「チューリップ」写生画展（21校、3,611人）

区内小学生対象、受賞作品を区内公共施設等で展示

（8月1日～12日 神大寺地区センター、8月13日～22日 神之木地区センター）

(イ) 区内私立小学校に区の花「チューリップ」の球根を配布（10月、350球）

(ウ) 区民向けに球根を配布・育成してもらい、区の花チューリップの普及啓発を実施
（10～11月、200球）



【チューリップ写生画展
（神大寺地区センター）】

(3) 歴史活用事業

ア 旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントの実施（11月22日、約1,600人）

イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報
（通年）

ウ 歴史の道ガイドパネル等の更新（2月、3か所）

18 まちづくり推進事業 3,317,937円（予算額 3,666,000円）

区政推進課

各地域の特性や課題、ニーズを把握し、魅力あるまちづくりを進め、「住みたい」「住み続けたい」まちを実現するための取組を推進しました。

(1) 企画調整・まちづくり事業

新子安駅周辺の景観向上及び環境改善の取組として関係課と連携し、駅（JR・京急）脇のフェンスに壁画を制作しました。（3月完成）

(2) 歩行者ネットワーク強化事業

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行いました。

19 わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,640,699円（予算額 1,930,000円）

地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、コミュニティの活性化を図りました。

(1) 商店街ラリー事業

横浜グリーンエクスポ開催にちなんで、「花」にまつわる商品を扱う店舗を巡るスタンプラリー（神奈川区商店街花ラリー）を開催しました。併せて、昨年誕生した神奈川区商店街キャラクター「かごにゃん」のポスターを掲出した店舗もスタンプラリーの対象として開催しました。

- ア 開催・応募期間：11月1日～1月31日
- イ 参加店舗数：「花ラリー」24店舗、「かごにゃんを探せ！」78店舗
- ウ 応募件数：321件



【花ラリーガイドブック（令和7年度商店街ラリー）】

《参考》商店街キャラクター（かごにゃん）の活用

経済局の区局間連携魅力ある商店街づくり事業で令和6年度に作成した、商店街キャラクターについて、区役所と商店街で活用することで、商店街の魅力発信に取り組みました。



商店街キャラクター活用事例
大神商店街キャラクターコラボの
紙ファイル作成



商店街キャラクター活用事例
アイスコーヒーボトル
（令和7年4月発売）

20 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

2,036,167円（予算額 1,920,000円）

地域振興課

神奈川区の魅力資産をまとめた神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」を活用し、区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、まちの魅力アップに取り組みました。

(1) 神奈川区資産の活用

ア 「わが町 かながわ とっておき」を活用したイベントの開催支援等

神奈川区の魅力の発信や若い世代の地域への関心、愛着を深めるイベント開催等、地域の方々と組織する「わが町 かながわ とっておき実行委員会」が行う事業を支援しました。

(ア) 専用ホームページを更新し、「散歩ガイド」やイベント情報等、神奈川区の魅力を発信

(イ) 小中学生を対象としたお弁当コンテストを実施（応募：93作品）

(ウ) 「手作りみそ体験」を実施（応募：61件、参加：11人）



【ビジュアル部門 最優秀賞
「チューリップたっぷりべんとう」】



【第17回 とっておき部門（一般）
最優秀賞「片倉の畑と富士山」】

(2) 「わが町 かながわ とっておき」写真コンテスト

ア 写真コンテストの開催及び入賞作品巡回展

「海と緑と丘のまち神奈川区」の魅力を表現する写真を、小中学生及び一般部門で募集し、横浜グリーンエキスポ開催に向け、新たに花部門を設けて募集を行いました。（応募：380点）

また、入賞作品を地区センター等で巡回展を開催し、神奈川区の魅力を発信しました。（8～3月）

イ 看板の維持管理

「わが町 かながわ 50選」案内看板の現況確認を実施し、必要に応じて補修を行い、適切な維持管理を行いました。

21 神奈川区民まつり事業

4,000,000円（予算額 4,000,000円）

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって企画・運営する神奈川区民まつりの開催を支援しました。また、区民まつりの場を活用して、脱炭素、横浜グリーンエキスポの機運醸成等にも取り組みました。

(1) 神奈川区民まつり

ア 実行委員会や各運営部会との連絡調整

イ 会場（反町公園）等の利用支援

ウ 開催日

令和7年10月12日（日）

午前10時から午後3時30分まで

エ 開催内容

各種団体によるブース出店（100団体、122ブース）
（物販、飲食販売、ゲーム、相談ブース等）、
ステージプログラム等

オ 参加人数

7万5千人（主催者発表）



【開会式】



【ブース出店状況】

文化・スポーツ・青少年育成等の区民活動や生涯学習を支援し、もって地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指しました。区民活動支援センターは区域の中間支援組織として、地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みました。

(1) 生涯学級事業

地域課題に関心を持って自主的に学び取り組むきっかけをつくるとともに、地域活動の中核となる区民を増やすことを目指し「生涯学級運営委員会」の活動を支援しました。

ア 生涯学級運営委員会が企画運営する区民向け連続講座

（3講座：テーマ「子育て中の親のつながり作り」
「地域に根差した国際ボランティアの輪を広げる」
「身近な企業・環境を知る」）

イ 生涯学級運営委員対象のスキルアップ講座・交流会

（3回：①5月23日、②6月23日、③6月30日、延べ50人）



【「多文化共生への理解促進とボランティアの発掘」
ゼロからはじめる多文化共生】

(2) 区民活動支援センター事業

地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指し、区民による活動や生涯学習を支援しました。また、区域の中間支援組織として地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みました。

ア 相談・支援等

- (ア) 地域での活動に関心のある人、地域で活動している個人・団体等からの相談対応
- (イ) 助っ人バンク（人材バンク）等を活用した地域の様々な主体をつなぐコーディネートやネットワークづくり
- (ウ) 登録者・団体の活動発表及び、地域への周知・活用のきっかけの場としての「みんなの文化祭」の開催（3回：①7月、8団体 延べ134人、
②9月、4団体 延べ42人、③2月、7団体 延べ150人）

イ 情報発信

ホームページやSNS、広報よこはま神奈川区版を活用した情報発信

ウ 人材の発掘・育成・活用

- (ア) 「地域デビュー講座」を開催
（全4回：9月～10月、ITボランティア講師育成講座、延べ14人）
- (イ) 登録団体等対象の交流会（年3回：①8月、②12月、③3月、延べ71人）

エ 地域施設間連携

- (ア) 地域の課題や魅力・情報の共有などを行うため施設間連携会議の開催
（2回：①6月 36人、②12月 34人）
- (イ) 施設間連携プロジェクト
- (ウ) 地域エリア別会議の開催など

オ かながわ湊フェスタ支援（11月2日、神奈川公会堂、約1,100人）

複数の活動団体からなる実行委員会が企画・運営する「かながわ湊フェスタ」の開催を支援しました。多くの活動団体が参加することで、団体同士の連携、新たな地域人材の発掘につなげるほか、神奈川区の人やまちなど多面的な魅力を発信しました。

(3) 文化活動支援事業

区内の文化・芸術の振興を図るため、区文化協会の活動を支援しました。また、「神奈川区の読書活動推進に向けた活動目標」に基づき、区民が読書に親しむ機会を充実させました。

ア 文化協会支援

(ア) 区伝統芸能祭（神奈川公会堂）

民謡民舞のつどい（10月5日、約250人）、舞踊のつどい（10月26日、約300人）

(イ) 区民音楽祭（神奈川公会堂）

コーラス交歓会（11月8日、約300人）、アンサンブルコンサート（11月9日、約300人）、中学校生徒音楽会（区内中学校と文化協会の共催 8月30日、約400人）

(ウ) 区文化展

洋画、日本画、写真、書道、手芸、工芸、華道茶道の発表会

（2月18日～3月9日、かなっくホールギャラリー、約1,200人）

(エ) 春のコンサート（3月28日、神奈川公会堂、約300人）

(オ) ちいさな美術館（全6回：7月～12月）

イ 読書活動推進

(ア) 読書に親しむきっかけとなる講演会の開催

「遠山顕のbreakthrough! 英語の壁をあきらめずに
超えていくヒント」（1月17日、かなっくホール、185人）

(イ) 読書活動関係機関連絡会（7月、2月）



【読書活動推進講演会】

(4) スポーツ振興事業

種目別団体による自主的な活動を通じて、区民が生涯を通じてスポーツ活動を楽しみながら健康増進・体力づくりができるよう、区スポーツ協会を支援しました。また、トップスポーツチームと連携した事業を実施しました。

ア 区スポーツ協会支援

（競技団体数：16、事業数：89（区民大会82、交流会等7））

イ トップスポーツチームとの連携

神奈川区にゆかりのあるトップスポーツチームと連携しスポーツ観戦企画を実施

（横浜F C：8月30日、

横浜キャノンイーグルス：1月17日、

横浜ビー・コルセアーズ：3月14日）

(5) 青少年育成事業

子どもや青少年がいきいきと活動し活躍できる機会をつくるため、子ども会育成連絡協議会が行う事業や研修、青少年の自主的な音楽やダンス等を広く披露する場をつくり、地域の活力の向上、青少年の健全育成を目的とするイベント「B-SKY FES」の開催を支援しました。

ア 子ども会育成連絡協議会支援

青少年向け事業や青少年育成者研修事業への支援

イ B-SKY FES支援

青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表
するイベント「B-SKY FES」の開催支援

（9月7日、神奈川公会堂、21団体 観覧者約1,500人）



【B-SKY FES 2025】

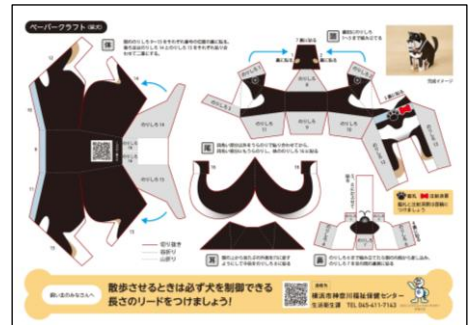
23 動物適正飼育推進事業 207,753円（予算額 214,000円）

生活衛生課

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行いました。

(1) 犬猫の適正飼育啓発事業

- ア 啓発用ペーパークラフト作成（7種、各900枚）
- イ 犬の適正飼育方法の啓発のためのチラシやマナープレート、トイレパックの配布
- ウ 福祉関連部署との連携による多頭飼育問題への早期発見や不適正飼育の予防（2件）
- エ 広報よこはま神奈川区版等での啓発（3月）



【啓発用ペーパークラフト】

(2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業

- ア 飼い主のいない猫によるトラブル解決の支援
 - 猫を起因とするトラブルが起きている地区での町内会等への不妊去勢手術実施の支援
 - 不妊去勢手術推進チラシの配布及びセミナーの開催（1地区）
 - 神奈川区猫ボランティアの派遣（2地区）
- イ 地域でのふん尿トラブルの解決支援として超音波式侵入防止器を貸出（11件）
- ウ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援
- エ 飼育管理が不適切な猫の飼い主への対応（16件）
- オ 広報よこはま神奈川区版等での啓発（1月）

24 地域防災力向上事業 21,355,139円（予算額 23,200,000円） ☆重点事業

総務課

福祉保健課

高齢・障害支援課

生活衛生課

安全・安心なまちづくりの実現に向け、防災・減災を自らのことと捉えて行動に移せるよう、自助・共助の取組を推進しました。特に「次世代につなぐ防災」を主な取組テーマとして、子どもたちや子育て世代への防災啓発を進めました。

あわせて、地域、医療機関、民間事業者等と連携して地域防災力の向上を図りました。

(1) 地域防災力の強化

ア 自助の推進

- (ア) SNS等を活用した防災情報の発信
- (イ) 「自分でつくるmy防災マップ」配布等
- (ウ) 防災アドバイザー派遣事業（3回、延べ47人）

イ 共助の推進

- (ア) 地域防災拠点の機能強化
 - a 運営マニュアルの改訂支援、地域防災拠点の環境整備（備蓄庫の修繕等）、地域防災拠点だよりの発行
 - b 要援護者をテーマとした実践的なモデル訓練の実施
地域防災拠点での要援護者の受入れや福祉避難所の開設・受入れ等の訓練を区本部各班との情報受伝達を行いながら実施しました。

（9月6日、中丸小学校地域防災拠点・

片倉三枚地域ケアプラザ（福祉避難所））

(イ) 共助推進事業

町の防災組織が実施する防災活動、防災資機材購入等にかかる費用補助（交付：35団体）

【主な申請内容】

- 共助体制強化：ポータブル電源（8件）
- 体験型防災研修：防災施設見学（4件）
- 地震火災対策：スタンドパイプ式消火器（2件）

ウ 次世代につなぐ防災

- (ア) 防災教育による担い手育成
 - a 小学生を対象に防災食の試食やエアマットを用いた一人分のスペース確認等を通じ、避難所の理解促進を図るため「かながわ区防災デイキャンプ」を実施
（9月20日、横浜市民防災センター、小学生89人）
 - b 区内中学校との情報共有や連携を強化し、学校の実情に応じた防災教育を実施（5校：延べ10回）



【防災情報をXにて発信】



【かながわ区防災デイキャンプ】



【中学校出前教室】

(イ) 子育て世代に向けた啓発の取組

a 乳幼児子育て世帯向け家具転倒防止普及啓発事業

出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配布（ドアロックストッパー：1,603個）

b 地域育児教室と連携した防災啓発（12か所、延べ親子129組）

区内12か所で実施している地域育児教室に出向き、乳幼児向けの防災備蓄の重要性や在宅避難に向けた自宅の防災対策について啓発を実施（感震ブレーカー、家具転倒防止器具、備蓄の拡充）



【感震ブレーカー（バネ式）】

《参考》感震ブレーカーの設置推進について

【設置推進事業（局事業）の助成申請数（令和7年度末時点）】

神奈川区 847件/全体 6,110件

（普及啓発）

地域育児教室と連携した防災啓発、広報よこはま神奈川区版9月号での防災特集、防災イベントでのデモ機展示（6月14日 市民防災センター）、Xによる発信、感震ブレーカー相談会の実施（8月5日 公会堂、9月29日 神大寺地区センター）、区庁舎サイネージでの動画放映、総務課窓口でのデモ機展示

(2) 区役所災害対応力の強化

ア 職員向け訓練・研修

(ア) 転入職員向け研修、即応班研修（4月14日）

(イ) 風水害避難場所運営訓練（6月4日）

(ウ) 地域防災拠点参与等研修（6月6日）

(エ) 地域防災拠点動員者向け研修（8月22日）

(オ) 庁舎避難誘導訓練、区本部初動対応訓練（9月3日）

(カ) 区本部各班訓練

イ 区本部運営に必要な物資やマニュアルの整備

区本部マニュアル改訂支援の実施及びファーストミッションボックスの作成



【風水害避難場所運営訓練】

(3) 医療初動体制の整備

ア 災害医療に係る機関や団体との連携

神奈川県災害医療連絡会議

(2回：①10月15日、②12月10日)

災害支援者のつどい(9月29日、21人)

イ 災害医療の訓練や区民啓発

(ア) 区災害医療訓練(11月16日)

参加機関：区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会、
災害拠点病院(横浜市立市民病院)、区内災害時救急病院、
横浜市災害支援ナース、警察署、消防署

(イ) 医師会、区内災害時救急病院等との情報受伝達訓練

(4回：①8月22日、②10月17日、③12月5日、④2月6日)

(ウ) 地域防災拠点における災害医療体制に関する啓発(2回)

(エ) 災害医療のぼり旗掲出訓練(11月11日～14日)

協力機関：区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会

(オ) 広報よこはま神奈川区版で横浜市災害支援ナース募集(11月)



【区災害医療訓練】

(4) 災害時要援護者支援事業

区が保有する災害時要援護者名簿の提供について、区連会への情報提供や自治会町内会への説明を行い、新規協定締結の促進を図りました。

ア 新規協定締結の促進【名簿提供団体：114団体(令和8年3月末時点)】

(ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結(5団体)

(イ) 名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会(3回)

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成

(5) 福祉避難所関連事業

要援護者の二次的避難所である福祉避難所(対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザ等)の運営体制確保を進めました。

【福祉避難所 協定締結数：25施設(令和8年3月末時点)】

ア 福祉避難所の運営支援等

(ア) 福祉避難所協定締結施設向け連絡会・福祉避難所情報共有システム情報受伝達訓練(12月10日)

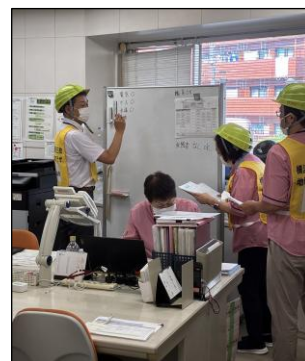
(イ) 福祉避難所の備蓄品等の追加整備(1月)

イ 地域防災拠点との連携・啓発

(ア) 地域防災拠点運営委員会総会において、福祉避難所について啓発(5月13日)

(イ) 福祉避難所運営・開設訓練

(9月6日、片倉三枚地域ケアプラザ・中丸小学校地域防災拠点)



【福祉避難所開設・運営訓練】

(6) 災害時のペット対策

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援

- (ア) 地域防災拠点運営委員会総会にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発（5月13日）
- (イ) 地域防災拠点運営委員会における災害時のペット対策の支援（3拠点）
- (ウ) 地域防災拠点におけるペット一時飼育場所用開設キットの配布による支援（新規6拠点（計8拠点））
- (エ) 地域防災拠点訓練時における、ペット同行避難訓練の支援（2拠点）
- (オ) 区獣医師会との連携によるペット防災講演会の実施（7月4日、区役所、21人）



【地域防災拠点でのパネル展示・説明及びペット同行避難訓練】

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発

- (ア) 日頃の備えの啓発として、「神奈川区動物病院マップ」の作成（2,500部）
- (イ) 広報よこはま神奈川区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備について啓発（9月）
- (ウ) 地域防災拠点訓練や地域イベントにて、災害時ペット対策を啓発（7拠点、地域イベント2回）
- (エ) 区役所での災害時ペット対策の啓発（9月）



【神奈川区動物病院マップ】

25 神奈川区防犯対策事業 3,798,949円（予算額 3,801,000円）

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等関係機関と連携を密に図りながら、犯罪発生状況に応じた情報の提供及び啓発活動などの防犯対策を推進しました。

(1) 住みよいまちづくり活動助成（21地区連合町内会が行う防犯活動・青少年の健全育成・3 R推進活動支援）

地域による安全で安心なまちづくり活動を推進するため、活動助成金を交付
（交付実績：20団体、7月～9月、計2,365千円）

(2) 防犯活動啓発事業

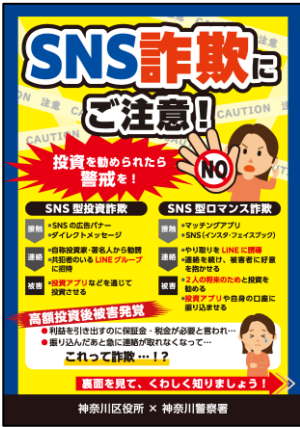
- ア 特殊詐欺等防犯啓発情報のメール配信（通年）
- イ 広報よこはま神奈川区版等による防犯啓発（年5回）
（5月：地域の防犯活動、7月：闇バイト、8月：夏休み子ども防犯啓発、10月：特殊詐欺、3月：SNS型詐欺）
- ウ 地域での防犯活動に必要な物品（帽子・ベスト・のぼり旗等）の貸与・配布（通年）
- エ 神奈川区地域安全のつどい（10月）
- オ 自治会町内会等への防犯啓発チラシ配布（通年）
- カ その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発（通年）



【特殊詐欺啓発のぼり旗】



【闇バイト注意啓発チラシ】



【詐欺被害防止啓発チラシ】



26 交通安全対策事業 4,710,708円（予算額 4,734,000円）

地域振興課

土木事務所

地域、警察、関係団体等と連携し、交通事故発生件数の減少に向けた啓発を行いました。また、路側帯のカラー化などの児童通学路の安全確保に必要な対策を、道路管理者である土木事務所と連携して行いました。

区内駅周辺での放置自転車等の減少に向け、区内駅周辺の自転車等放置禁止区域内での地域による啓発活動を行いました。

(1) 自転車マナーアップ事業

自転車利用のマナーアップ啓発（通年）

(2) 自転車等放置防止推進協議会への助成

各禁止区域の協議会に対する活動費助成

（交付：5団体、4月～6月、各50千円）

(3) 交通安全啓発事業

ア 交通安全教室啓発（4月～6月、11月）

希望する小・中学校及び自治会町内会を対象に実施

（小学校20校、中学校2校、自治会町内会）

イ 交通安全チラシ及び啓発物品の配布（通年）

ウ 広報よこはま神奈川区版を活用した啓発

（4月、5月、8月、12月）

エ 警察と連携した交通安全啓発キャンペーン（通年）



【はまっ子交通安全教室】



【スケアードストリートでの交通安全教室】



【警察と連携した交通安全啓発キャンペーン】



【神奈川区交通安全功労者】

(4) 神奈川区交通安全対策協議会（事務局）

ア 神奈川区交通安全対策協議会開催（5月）

イ 交通安全功労者表彰（5月）

（表彰：個人5名、団体5団体）

(5) 児童通学路整備事業

ア スクールゾーン対策協議会活動の支援

（交付：17団体 各20千円）

スクールゾーン対策協議会（7月～9月）

イ 通学路内の路面標示の補修（通年）

(6) 交通安全対策工事

路面標示・標識の設置、補修等（通年）



【通学路 路面標示の補修】

Ⅳ 信頼される区役所づくり 15,819,420円（予算額 13,335,000円）

27 かながわデジタル推進事業 5,011,260円（予算額 4,344,000円）

総務課

神奈川区の窓口におけるデジタル化の推進により、来庁者の利便性向上や混雑緩和を図りました。

(1) 区役所デジタル化推進

- ア 窓口混雑状況や呼出番号をW e b上で確認できるシステムの保守・運用（通年）
- イ 来庁者用のWi-Fi運用（通年）
- ウ 区政広報用デジタルサイネージの設置等（5月）

28 チーム神奈川おもてなし向上事業 10,808,160円（予算額 8,991,000円）

総務課

神奈川区の特性に合わせた人材育成の施策により、区役所職員のスキルアップを図ることで区民サービスの向上を目指しました。また、来庁者が利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺の環境整備を進めました。

(1) 人材育成等推進事業

- ア 新採用・転入者研修（4月）
- イ 職員向けスキルアップ研修（年3回：6月、9月、10月）

(2) 人権啓発事業

- ア 区職員向け研修
 - (ア) 責任職研修（全体研修：6月、グループ別研修：7グループ各3回（8月～1月））
 - (イ) 職員対象研修（年7回：10月～12月）
- イ 区民向け・関係団体向け講演会「共生社会を目指して～紛争地、被災地に生きる人々の声～」（年1回：1月19日、神奈川公会堂）

(3) 来庁者の利便性向上

- ア 庁舎周辺の清掃、窓口・待合スペース等の環境改善及び音響設備の更新
- イ 区の様々な情報をまとめた転入者セットの配付

(4) 区民顕彰事業

- スポーツ、芸術、文化等の分野において、顕著な功績があった方へ栄誉賞を授与（1月6日、受賞者：画家・井上寛子氏、神奈川県立横浜翠嵐高等学校文芸部）

3 自主企画事業以外で実施した主な事業

〇こども青少年局

① こんにちは赤ちゃん訪問事業

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、まちの子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員児童委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を親子に勧めました。

【参考：令和7年度実績】訪問員58人、訪問件数1,577件

② 地域子育て支援拠点事業

未就学児とその保護者及び子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かなーちえ」「かなーちえサテライト」（NPO法人 親がめが運営）があります。

【参考：令和7年度実績】利用者数延べ42,357人（サテライト等を含む）

③ 児童虐待防止啓発地域連携事業

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めました。

④ DV対策事業

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行いました。

⑤ 寄り添い型生活支援事業

養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生を対象に食事、歯磨き、掃除などの生活習慣の習得及び学習支援を実施しました。

⑥ 横浜市認定こども園及び保育所地域子育て支援事業

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やしました。

⑦ 保育資源ネットワークの構築

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。

子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施しました。

⑧ 待機児童・保留児童対策

待機児童ゼロの継続等に向け、既存資源の活用や保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行いました。

【令和7年4月開所】

クルミ保育園（横浜保育室からの認可移行）（高島台） 定員60人

⑨ 放課後児童サポート事業

放課後キッズクラブや放課後児童クラブ等のスタッフに対して、様々な研修を実施しました。

○健康福祉局

⑩ 認知症地域支援推進事業（チームオレンジ）

地域ケアプラザが中心となってコーディネートを行い、認知症の人や家族の希望や願いをもとに地域における取組を進めました。各地域でチームオレンジが増えることにより、認知症の人がさまざまな活動に参画する機会を拡大して、役割と生きがいを持って、安心して自分らしく暮らせる地域づくりにつなげます。

【チームオレンジとは、認知症の人や家族の希望や願い、困りごとなどの声をもとに、その実現や解決に向けた取組を、認知症の人や家族とともに地域住民や団体、企業、関係機関等が連携して進める「本人支援」の活動のことです。】

⑪ 自殺対策事業

自殺対策強化月間（9月、3月）を中心に、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組みました。

⑫ 市民の健康づくりの推進

第3期健康横浜21に基づき、乳幼児期から高齢期まで継続した生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防や重症化予防、健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくりに、市民、関係機関・団体、行政が共に取り組むことにより、誰もが健やかな生活を送ることができる都市を目指します。

⑬ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、訪問や相談など地域における見守り活動等を推進しました。

【これまで訪問は、名簿に新たに追加された75歳以上のみの（単身・複数）世帯の方を対象としていましたが、令和7年度は、試行的に訪問対象年齢を引き上げ、名簿のうち原則として新たに80歳以上のみの（単身・複数）世帯となった方又は区外から転居されてきた80歳以上のみの（単身・複数）世帯の方に訪問面談を行いました。（名簿は75歳以上のみの世帯の方の情報を掲載）】

○医療局

⑭ 地域猫活動支援

飼い主のいない猫による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサやふん尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援しました。

登録された支援対象組織には、対象とする飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援を行いました。

⑮ 飼い主のいない猫の不妊去勢手術推進

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行うことを奨励して、むやみな繁殖を防止することにより猫の減少、周囲に対する危害及び迷惑の未然防止を図り、動物の愛護及び管理についての理解を深めてもらうために、不妊去勢手術費用の一部を助成しました。

○経済局

⑯ 商店街活性化イベント助成事業

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

⑰ 安全・安心な商店街づくり事業

商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図りました。

○みどり環境局

⑱ 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業

チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望のあった区内公立小学校18校及び盲特別支援学校1校の計19校にチューリップの球根を配布しました。（配布数4,410球）

⑲ 公園整備事業

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和7年度は菅田公園で実施しました。

また、老朽化した施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。

令和7年度は、打越公園、織茂公園、白幡西公園などで実施しました。

○建築局

⑳ 管理不足空家等の防止・解消対策の推進

令和6年3月に「第3期横浜市空家等対策計画」の策定をしており、①空家化の予防、②空家の流通・活用促進、③管理不足空家等の防止・解消の3つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和7年度は、自身での管理が困難な所有者向けに、空家の管理代行事業者を募集し、リストにしてホームページ上で公開する制度を開始しました。

○道路・交通政策局

②① 横浜市シェアサイクル事業

株式会社ドコモ・バイクシェア及びOpenStreet株式会社と協定を締結し、横浜市シェアサイクル事業を公民連携で実施しています。令和7年度は、全市一体でのシェアサイクル事業展開を開始しました。

②② 道路修繕事業

羽沢町（主要地方道環状2号線）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、安全性の確保や交通の円滑化、騒音振動の解消を図りました。

②③ 道路改良事業、都市計画道路の整備

片倉六角橋線（神大寺地区）については、令和7年度内に全ての用地取得が完了しました。

また、六角橋線（六角橋地区）については、令和7年10月に、関連する地域にお住まいの皆様を対象とした、事業に関する説明会を開催しました。

○都市整備局

②④ 横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発事業

国家戦略特区を活用し、グローバル企業の誘致に不可欠な都心居住促進のための国家戦略住宅を市街地再開発事業により整備が行われてきましたが、再開発建物は、令和6年3月に竣工し、6月に商業、ホテル等がグランドオープンしました。

また、令和7年3月に交通広場の供用が開始され、令和8年3月25日付で再開発組合の解散認可公告を行い、約8年に及ぶ再開発事業が完了しました。

②⑤ 東高島駅北地区開発事業

平成30年度に土地区画整理組合が設立認可され、埋立工事を含めた区画整理工事を進めてきています。

令和7年度は、新設橋梁の架設、鉄道施設の撤去・移設などを進めました。

②⑥ まちの不燃化推進事業

地震火災における被害の軽減に向け、延焼の危険性が特に高い地域において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに、老朽建築物の除却や建替の工事費の一部補助などを行いました。また、六角橋商店街地区や六角橋北町地区、白幡上町地区等における協働による防災まちづくり活動の支援を進めるなど、まちの不燃化に向けた取組を総合的に推進しました。

○教育委員会

⑳ 青木小学校の不足教室対策

青木小学校は、通学区域内におけるマンション開発の影響で児童が増加しており、教室不足が生じる見込みとなりました。そこで「青木小学校」学校規模適正化等検討部会を設置し、具体的な対応策の検討を行いました。

検討の結果、通学区域の変更により対応するとして、検討部会としての「意見書」が取りまとめられました。次年度（令和8年度）は、「意見書」をもとに、教育委員会等で審議が行われ、対応策について方針が決定する予定です。

○下水道河川局

㉑ 下水道管きょ維持管理事業

災害時に必要な物資等を輸送するための緊急輸送路などに敷設された下水道管の耐震化を進めています。令和7年度は国道1号などで耐震化を行いました。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、全市域を対象とした調査結果等に基づき、老朽化の進行度や発見した不具合の内容に応じて計画的に、下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。令和7年度は平川町や高島台などで再整備を行いました。

㉒ 横浜駅周辺地区における下水道整備

市内で最も都市機能が発達し集積している横浜駅周辺地区（エキサイトよこはま22）では、目標整備水準を時間降雨量約82mm（30年に1回の降雨）に引き上げ、下水道施設の整備を進めます。

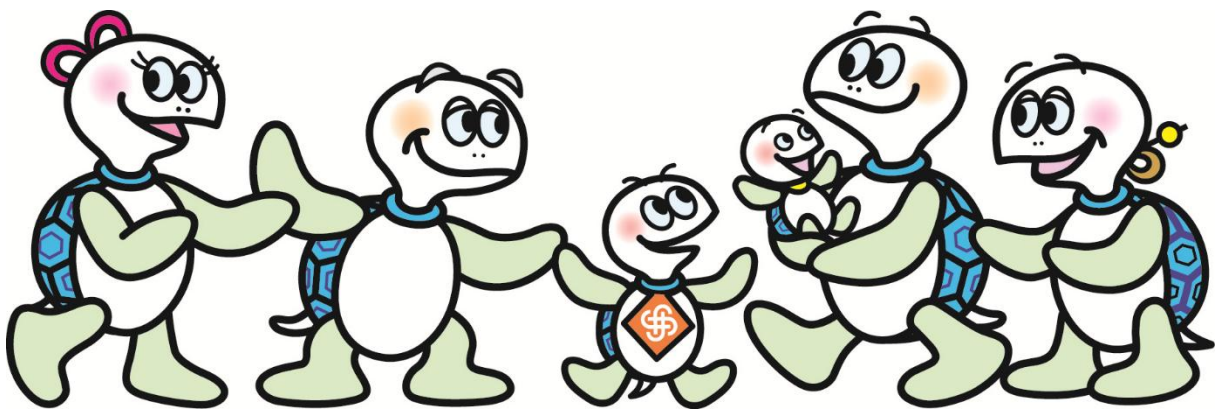
令和7年度は引き続き、神奈川公園等でエキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線の整備を進めるとともに、鶴屋町周辺で枝線的能力を増強する工事及び、金港町、栄町周辺で試掘工事及び、集めた雨水を海域へ放流するため、東高島駅北地区土地区画整理事業地内で新たに東高島ポンプ場の整備を進めました。

○都市整備局、にぎわいスポーツ文化局、教育委員会事務局

㉓ 神奈川台場のデジタル技術（VR/AR）による保全・活用

神奈川区の歴史的資産である神奈川台場について、公益社団法人神奈川台場地域活性化推進協会と協定を締結し、公民連携によりARやVR、郷土学習映像を制作しました。

また、区民の認知度向上や来訪意欲の喚起を図るとともに、次年度（令和8年度）は、制作したAR、VR及び郷土学習映像を活かしながら、神奈川区の魅力の発信に、引き続き取り組みます。



令和8年 第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

令和8年度 個性ある区づくり推進費

執行状況



令和8年9月3日

神 奈 川 区

目 次

ページ

1	令和8年度 神奈川区編成予算 総括	1
2	令和8年度 神奈川区自主企画事業一覧	3
3	令和8年度 神奈川区自主企画事業執行状況	4
4	自主企画事業以外で実施する主な事業	29

1 令和8年度 神奈川区編成予算 総括

(1) 区分別総括表

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引
ア 自主企画事業費	106,714	106,415	299
イ 統合事務事業費	50,728	51,342	△ 614
(ア) 統合事務費	29,212	29,488	△ 276
(イ) 統合事業費	21,516	21,854	△ 338
ウ 区庁舎・区民利用施設管理費	694,199	673,872	20,327
合 計	851,641	831,629	20,012

(2) 内 訳

ア 自主企画事業費

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引	主な増減理由
3つの施策				
I いきいきと暮らせるまちづくり	20,338	22,622	△ 2,284	認知症月間での地域ケアプラザの取組を集中的に実施することによる、区の経費見直しに伴う高齢者支援事業の減等
II 魅力あふれるまちづくり	45,668	38,723	6,945	区制100周年記念事業プロモーション実施拡大に伴う神奈川区制100周年記念事業の増等
III 安心・安全なまちづくり	30,198	31,735	△ 1,537	防災ガイドのデータでの配付等への切替による印刷経費の削減に伴う地域防災力向上事業の減等
IV 信頼される区役所づくり	10,510	13,335	△ 2,825	こども家庭支援課等の窓口発券システムの切替完了に伴うかながわデジタル推進事業の減
合 計	106,714	106,415	299	(28事業)

イ 統合事務事業費

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引
統合事務費（生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費）	29,212	29,488	△ 276
統合事業費（8事業）	21,516	21,854	△ 338
広報よこはま発行事業	10,830	11,062	△ 232
市民相談事業	1,405	1,419	△ 14
クリーンタウン横浜事業	3,199	3,231	△ 32
緊急時情報システム運用事業	891	899	△ 8
スポーツ推進委員支援事業	2,192	2,214	△ 22
青少年指導員事業費	2,206	2,228	△ 22
学校・家庭・地域連携事業	616	623	△ 7
健康づくり月間	177	178	△ 1
合 計	50,728	51,342	△ 614

ウ 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

区 分	8年度予算額	7年度予算額	差 引
1 区庁舎	97,126	98,793	△ 1,667
2 土木事務所	11,443	10,283	1,160
3 公会堂	40,379	38,768	1,611
4 地区センター、集会所、スポーツ会館	227,511	217,043	10,468
5 ログハウス	9,658	9,216	442
6 区民文化センター	127,871	124,708	3,163
7 老人福祉センター	29,230	28,074	1,156
8 コミュニティハウス	57,723	56,667	1,056
9 スポーツセンター	50,452	52,436	△ 1,984
10 広場・遊び場	1,355	1,368	△ 13
11 国際交流ラウンジ	28,408	28,408	0
12 区庁舎・区民利用施設修繕費	13,043	8,108	4,935
合 計	694,199	673,872	20,327

2 令和8年度 神奈川区自主企画事業一覧

(単位：千円)

No.	事業名	8年度	7年度	増△減	所管課	重点	頁
I いきいきと暮らせるまちづくり							
1	かながわ子育てかめっ子支援事業	3,654	3,856	△ 202	こども家庭支援課	★	4
2	かながわ健康づくり応援事業	2,291	2,194	97	福祉保健課	★	5
3	地域福祉保健活動推進・支援事業	4,053	4,572	△ 519		★	6
4	高齢者支援事業	1,770	3,019	△ 1,249	高齢・障害支援課		7
5	障害者支援事業	1,338	1,543	△ 205			8
6	かながわ安心子育て支援事業	1,998	2,351	△ 353	こども家庭支援課		9
7	市立保育所地域交流事業	1,693	1,693	0			10
8	放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業	382	382	0			11
9	民生委員・児童委員活動支援事業	1,145	998	147	福祉保健課		12
10	ふれあい活動支援事業	2,014	2,014	0			12
小計		20,338	22,622	△ 2,284			
II 魅力あふれるまちづくり							
11	かながわ脱炭素化推進事業	2,318	1,844	474	区政推進課	★	13
12	花と緑あふれるまちづくり事業	5,607	4,977	630	土木事務所	★	14
13	チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり	3,720	2,820	900	地域振興課	★	15
14	神奈川区制100周年記念事業	5,120	1,200	3,920	区政推進課	★	16
15	地域力アップ推進事業	2,458	2,600	△ 142	区政推進課、地域振興課		17
16	情報・魅力発信事業	4,636	4,204	432	区政推進課		18
17	まちづくり推進事業	3,772	3,666	106			19
18	わが町かながわ商店街魅力発信事業	1,930	1,930	0	地域振興課		19
19	神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業	2,220	1,920	300			20
20	神奈川区民まつり事業	4,000	4,000	0			20
21	区民活動・生涯学習支援事業	6,587	6,188	399			21
22	地域活動支援事業	3,091	3,160	△ 69			22
23	動物適正飼育推進事業	209	214	△ 5	生活衛生課		22
小計		45,668	38,723	6,945			
III 安心・安全なまちづくり							
24	地域防災力向上事業	21,824	23,200	△ 1,376	総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課	★	23
25	神奈川区防犯対策事業	3,540	3,801	△ 261	地域振興課		26
26	交通安全対策事業	4,834	4,734	100	地域振興課、土木事務所		27
小計		30,198	31,735	△ 1,537			
IV 信頼される区役所づくり							
27	かながわデジタル推進事業	3,213	4,344	△ 1,131	総務課		28
28	チーム神奈川おもてなし向上事業	7,297	8,991	△ 1,694			28
小計		10,510	13,335	△ 2,825			
合計		106,714	106,415	299			

3 令和8年度 神奈川区自主企画事業執行状況

I いきいきと暮らせるまちづくり 20,338千円（7年度 22,622千円）

1 かながわ子育てかめっ子支援事業 3,654千円（7年度 3,856千円） ☆重点事業

こども家庭支援課

子育て家庭の孤立を防ぎ、児童の健やかな成長を見守る地域をつくるため、妊娠期から様々な機会を通して保護者の育児不安を軽減し、ネットワークづくりを行います。また、地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場「すくすくかめっ子」の活動を支援します。

(1) すくすくかめっ子事業 831千円（921千円）

地域ぐるみで取り組んでいる親子のたまり場の活動支援、担い手同士の交流を行います。

ア 研修会（年1回）

イ 全体交流会（6月8日、50人）及び

方面別交流会（4方面で各1回ずつ開催、①9月17日、
②9月24日、③9月28日、④9月30日）

ウ 訪問運営支援、情報発信強化（SNSを活用）



【すくすくかめっ子】

(2) 土曜日両親教室 717千円（635千円）

妊婦とパートナーが子育てや夫婦のコミュニケーション等について学ぶ機会を提供します。父親の育児参加について啓発します。

（月1回：4月～8月 5回、延べ116組228人（7月末時点））



【土曜日両親教室】

(3) 赤ちゃんふれあい学級 141千円（150千円）

区内中学校を対象に、思春期保健の出張授業と、地域子育て支援拠点かなーちえの乳幼児ふれあい体験事業を行います。（2校予定）

(4) 養育ネットワーク事業 1,245千円（1,434千円）

0歳児とその養育者が集う場を設け、養育者のつながりをつくり、孤立化を予防します。また、育児の知識や情報提供をし、育児不安の軽減を図ります。

（12会場で各10回：4月～8月 48回）

(5) 子育て情報提供事業 670千円（666千円）

ア 親子でおでかけマップ作成・配布（5,000部）

イ 誤飲予防啓発うちわの作成・配布（1,800枚）



【誤飲予防啓発うちわ】

(6) 乳幼児健康診査事業等における保育事業 50千円（50千円）

乳幼児健診事業における一時保育等に対し、傷害保険に加入します。

2 かながわ健康づくり応援事業 2,291千円（7年度 2,194千円）☆重点事業

福祉保健課

区民の健康寿命の延伸に向け、誰もが身近な場所で健康づくりに取り組めるきっかけづくりを行います。生涯にわたる健康づくりにおいては、継続的な取組が重要となります。地域関係団体等と連携しながら、年代ごとの健康課題に合わせた支援を切れ目なく展開し、特に学齢期及び働き・子育て世代の健康づくりに重点的に取り組みます。

(1) さあ！歩こう健康ウォーキング事業 289千円（561千円）

- ア 親子が参加できるウォーキングイベント等の実施
- イ よこはまウォーキングポイントを活用したイベントの開催
(年2回：プレゼントキャンペーン、商店街ラリー)
- ウ 保健活動推進員・ヘルスメイト向け
ウォーキング活動支援講座（年1回）



【令和7年度プレゼントキャンペーン
配布グッズ（サコッシュ）】

(2) かながわ健康アップ事業 1,349千円（941千円）

- ア 働き・子育て世代向け健康チェック
(年10回：4月～7月 3回、延べ95人)
4か月児健康診査の実施日と同日開催及び地域子育て支援拠点
「かなーちえ」で出張開催
- イ 小学生とその保護者を対象とした、虫歯、歯周病予防の
講話や噛む力のチェック等による、将来的なオーラル
フレイル予防を啓発する講座
(年3回：①放課後児童クラブにて連続講座として実施（7月29日、8月20日）
②③単発講座調整中)
- ウ 野菜摂取量測定器を活用した生活習慣改善の啓発（通年）
- エ 両親教室での健康講話（年36回：4月～8月 15回）
- オ 地域での歯科出前講座の開催（年4回）



【働き・子育て世代向け健康チェック】

(3) かなちゃん食育応援事業 653千円（692千円）

- ア 保育所、小中学校等との連携による食育推進
 - (ア) 栄養士、養護教諭等による食育連絡会（年2回）
 - (イ) 食育展の開催（6月10日～22日、神奈川県図書館）
- イ 食育関連講座
 - (ア) 3歳児健康診査での食育ミニ講座
(年24回：4月～7月 8回、延べ277組)
 - (イ) 学校等との協働による出前食育講座
(年2回：①7月、43人)
 - (ウ) ヘルスメイト等との協働による食育の普及（年3回：4月～8月 2回、延べ97人）



【3歳児健康診査での食育ミニ講座】

3 地域福祉保健活動推進・支援事業 4,053千円（7年度4,572千円） ☆重点事業

福祉保健課

令和8年度は、第5期かながわ支え愛プランのスタートの年として、計画の周知を重点的に行います。今期の3つの重点ポイント、「子どもや子育て世代にやさしい」「多様性に対する理解、多様な活動機会の創出」「デジタル技術の活用」を中心に取組を進め、より多くの区民の方に関心を持ってもらい、地域活動への参画意識の醸成や持続可能な地域活動を支援します。

(1) 第5期かながわ支え愛プランの普及啓発 3,620千円（4,094千円）

- ア ホームページや地域情報誌などを活用した計画や地域活動の広報
- イ 世代や活用場面に応じた普及啓発グッズの作成
- ウ 区内関係機関の代表者などを委員とする「かながわ支え愛プラン策定・推進会議」を開催し、普及啓発の展開方法、推進に向けた課題を検討（7月、2月）

【スケジュールイメージ】

計画サイクル	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(1)普及啓発	推進期				
(2)活動や取組の推進					
(3)振り返り					
(4)次期プランの検討				検討・策定	



【神奈川県地域福祉保健計画
マスコットキャラクター
がわちゃん】

(2) 地域の福祉保健活動の推進・意識醸成支援 433千円(478千円)

- ア 区・区社協・地域ケアプラザによるチームでの地区支援
- イ 地区別計画推進会議の開催支援
各地区における課題やそれを解決するための工夫・取組について共有・検討
(地区ごとに開催：年2～3回程度)
- ウ 小中学校での出前教室等の実施
地域福祉保健計画についての出前教室を行うことにより、こどもたちの地域への理解を深め、地域活動との橋渡しを行います。
幸ヶ谷小学校（6月）、神橋小学校（6月）、中丸小学校（7月）
- エ 地域活動の推進を目的とする研修の実施
区役所、区社協、地域ケアプラザ職員向け研修（年3回程度）
地区別計画推進会議への講師派遣（通年）
- オ 社会福祉大会の開催
全体発表会「みんながつながるまちのつどい」開催（2月）
地域活動を事例で紹介

神奈川

小中学校での出前教室を通じた 地域福祉保健活動支援

地域福祉保健活動の重要性を伝え、こどもたちの声を計画に取り入れるとともに、地域活動への参画を進めるため、小中学校での出前教室を行っています。ポイ捨ての多いエリアにポスターを掲示する美化活動に取り組んだクラスや、地域ケアプラザ職員から高齢者支援を学び、モルックなどの健康支援活動に取り組んだクラス等、出前教室をきっかけに地域活動の活性化につながっています。



【「横浜市中期計画2026 - 2029」より抜粋】

4 高齢者支援事業 1,770千円（7年度 3,019千円）

高齢・障害支援課

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、健康維持に取り組む介護予防を進めます。また、認知症の人やその家族が自分らしく暮らしていけるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発を行います。

高齢者にとっても、あらゆる世代の方々にとっても住み続けたいまちとして、見守りのネットワークを各地域で強化し、地域包括ケアシステムを推進します。

(1) 介護予防普及啓発事業 795千円（972千円）

高齢化の進行と要介護認定者数のさらなる増加が予測される中、地域包括支援センターや元気づくりステーション等につながっていない方をはじめ、より多くの区民のみなさんが介護予防への関心を高めていけるよう取り組みます。



【手ぬぐいを使った神奈川区オリジナルの手ぬぐい体操「かめ亀手ぬぐいサイズ」】

ア 民間企業との連携によるフレイル予防体験イベントを開催（年3回：①9月30日、②10月6日、③2月）

「フレイル」…「健康」と「要介護状態」の“中間の状態”で、早く気付いて予防することで、状態の維持・改善が期待できる

イ 介護予防普及啓発講演会を開催（10月6日、神奈川公会堂）

ウ 「かめ亀手ぬぐいサイズ」の普及・手ぬぐいの活用促進（800枚作製）

(2) 認知症高齢者支援事業 790千円（1,710千円）

認知症高齢者の介護者を支援するとともに、認知症になっても安心して暮らせるよう、地域の人材育成や認知症についての普及啓発を進めます。



【認知症カフェ「いろばた茶屋デニーズ片倉町店」】

ア 介護者のためのこころの相談室

（年20回・1回2枠：4月～7月 6回11枠）

イ チームオレンジの情報発信

認知症月間において理解促進や本人支援の取組を集中的に

発信（8月区役所内展示、9月広報よこはま神奈川区版等による啓発）

ウ 神奈川区認知症高齢者みまもり協力店の普及・登録勧奨（通年）

(3) 地域包括ケア推進事業 185千円（337千円）

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた神奈川区アクションプランを推進するため、引き続き、重点テーマである「見守り」の体制強化に向けて取り組みます。



【地域ケア会議連絡会】

「地域包括ケアシステム」…高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために、住まいを中心に、介護、医療、生活支援・介護予防が一体的に提供される日常生活圏域ごとの包括的な支援・サービスの提供体制のこと

見守り体制強化に向けた地域ケア会議連絡会（年2回：①6月18日、29人、②2月16日）

5 障害者支援事業 1,338千円（7年度 1,543千円）

高齢・障害支援課

自立支援協議会や神奈川区障害者地域作業所連絡会等と連携しながら、障害者一人ひとりが、その人らしく地域生活を送ることができるように、障害児者の理解を深める普及啓発や自主製品販売の促進に取り組みます。

(1) 障害者支援事業 1,338千円（1,543千円）

ア 障害者地域作業所等の活動支援

(ア) 活動場所でアレンジした生花の区役所窓口への
配達委託（年48週実施）

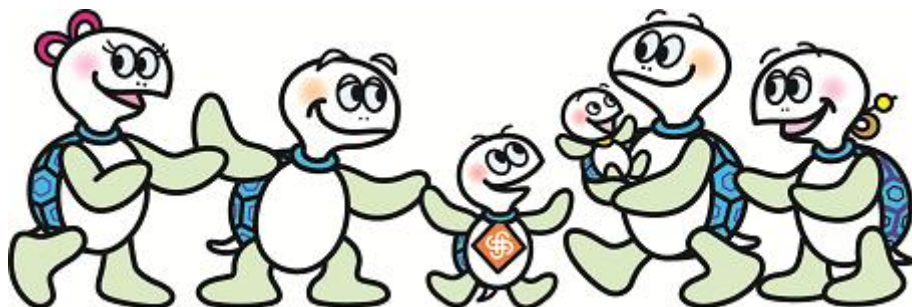
(イ) 障害福祉サービス事業所等の自主製品販売支援（通年）



【市営バス車内デジタルサイネージ】

イ 市営バス車内デジタルサイネージを活用した障害者週間等での啓発（12月）

ウ 精神保健福祉関係者と連携した退院促進・在宅生活継続支援のための支援技術向上
研修（年1回）



6 かながわ安心子育て支援事業 1,998千円（7年度 2,351千円）

こども家庭支援課

育児に不安を抱える養育者等に対し、アウトリーチ型の支援の強化や、個別の訪問・面接の対応を充実させ、孤立化の防止や虐待の予防につなげます。また、職員一人ひとりのソーシャルワークを向上させ、複雑化していく事例への対応力を強化します。

(1) 児童虐待防止対策事業 320千円（893千円）

乳幼児健康診査の未受診者、第1子を対象とした新生児訪問に加え、不安の強い第2子以降への電話、家庭訪問等のきめ細やかな支援を行い虐待リスクに対して未然のケアを行います。（訪問件数：4月～7月 8件）

(2) ファミリーサポート事業 338千円（323千円）

養育に不安を抱える方に対し、心理士による個別カウンセリングを行うことで保護者の育児不安を解消し、児童虐待を予防します。（月1回：4月～7月 4人）

(3) ひとり親家庭相談支援事業 700千円（700千円）

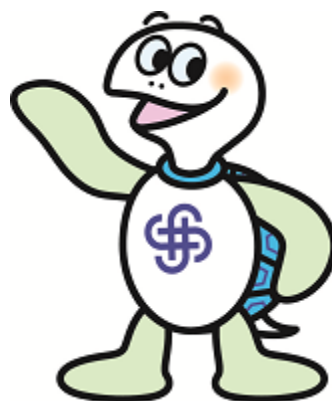
ひとり親世帯を対象に、経済的な困窮や子どもの教育など家庭全般の悩みを受け止める相談支援を実施します。（月6回：4月～7月 25回）

(4) 虐待・DV対応に関わる対応力強化 640千円（435千円）

複雑で重篤な児童虐待事例やDV事例の増加に対応するため、スーパーバイザーを招き、専門職が対応に苦慮している事例の検討会や個別相談等を実施します。

ア 虐待・DV事例のスーパーバイズ（年2回：①2月、②3月）

イ 虐待・DV事例の法律相談（年6回：①5月11日、②7月6日 ほか4回）



7 市立保育所地域交流事業 1,693千円（7年度 1,693千円）

こども家庭支援課

地域での子育てを広く支援するため、園庭・施設開放及びランチ交流等を実施します。また、保育所入所に向けた保育所情報の提供を行います。さらに、民間保育所も含めた区内の保育所の連携を強化し、保育の質の向上を図ります。

(1) 食育推進事業 424千円（424千円）

入所児童の保護者を対象に給食試食（3園：延べ200人程度）、地域の親子を対象にランチ交流（3園で57回：延べ100人程度）を実施します。



【園庭解放】

(2) 地域交流事業 470千円（470千円）

土曜日に園庭や施設を地域に開放し交流を実施します。

(3) 保育施設等情報パンフレット作成 546千円（546千円）

神奈川区及び近隣区の保育所マップを作成し配布します。（10,000部）

(4) 保育園連携事業 73千円（73千円）

民間保育所も含めた区内の保育所の連携を強化するため合同園長会等を行い、保育の質の向上を図ります。（年4回：①5月11日、②8月5日、③10月、④2月）

(5) 防災意識向上推進事業 180千円（180千円）

子どもたちが防災を学べる教材「てくてくまっち®」を作成するとともに、市立保育所が開催するまち歩きへの参加を民間園職員へ呼びかけ、職員や未就学児等の防災意識強化を図ります。



【防災教材「てくてくまっち®」】

「てくてくまっち®」…神奈川区と横浜市立大学等が協働で開発した、乳幼児期の子どもと施設の職員が日常の活動の延長線上で防災・減災の視点からまちの資源と活用方法を学べる教材

8 放課後キッズ・児童クラブ等対応力向上支援事業 382千円（7年度 382千円）

こども家庭支援課

放課後キッズクラブ・放課後児童クラブの現場職員等を対象に、各クラブの人材育成を図るとともに、クラブ相互の連携と安定運営を促進し、子どもたちにとってより安全で快適な放課後の居場所づくりを実現するため、各種研修を実施します。

(1) 放課後関連運営主体・職員等対象 382千円（382千円）

ア 集合研修

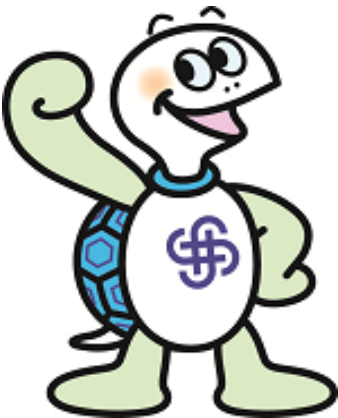
研修名	対象者	内容	実施時期	参加者数
養育支援	現場職員	児童虐待等への対応	7月3日	33人
普通救命	現場職員	救急対応	11月	—
災害対応	現場職員 運営主体	災害時の対応	3月	—

イ 出前研修

研修名	対象者	内容	実施時期
クレーム対応、安全管理、コミュニケーションなど (クラブの希望に応じて実施)	現場職員 運営主体 (合計 2クラブ 程度)	クレームとの関わり方、施設の安全管理や災害時の対応、現場職員間の円滑なコミュニケーションの関り方	9月～ 12月

【放課後児童健全育成事業クラブ数（令和8年8月末時点）】

放課後キッズクラブ18か所、放課後児童クラブ17か所



9 民生委員・児童委員活動支援事業 1,145千円（7年度 998千円）

福祉保健課

地域住民の立場に立って地域の福祉を担う民生委員・児童委員の活動を支援し、活動しやすい環境づくりにつなげます。

(1) 訪問活動の支援 1,055千円（998千円）

高齢者宅等を訪問する際に手渡し、話のきっかけなどにするための訪問活動用物品を配布します。

(2) 民生委員・児童委員担当区域図更新 90千円

民生委員・児童委員が訪問活動で使用する担当区域図について、新たに電子地図データの活用により、更新し、配付します。

10 ふれあい活動支援事業 2,014千円（7年度 2,014千円）

福祉保健課

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、各地区社会福祉協議会が実施している日常生活の中で気になる人に対する訪問・見守り活動を、神奈川区社会福祉協議会との連携により支援します。

(1) 研修の実施

ふれあい活動員を対象とする情報交換会（12月頃）

(2) ふれあい活動支援

ア ふれあい活動支援補助金の交付（1地区最大10万円）

イ 活動周知パンフレットの増刷



【ふれあい活動員を対象とした研修】

Ⅱ 魅力あふれるまちづくり 45,668千円（7年度 38,723千円）

11 かながわ脱炭素化推進事業 2,318千円（7年度 1,844千円）☆重点事業

区政推進課

「Zero Carbon Yokohamaの実現」に向けて、区民の皆様に環境行動の重要性を啓発するとともに、脱炭素ライフスタイルへの行動変容を促す取組を推進していきます。広く区民の皆様に向けた取組を進めることに加え、次代を担う子どもたちをはじめ若年層へ向けた取組を重点的に実施します。

(1) 脱炭素ライフスタイル啓発事業 2,142千円（1,616千円）

ア 子ども向け脱炭素啓発ワークショップイベントの実施

（2講座：11月28日、神奈川大学横浜キャンパス）

神奈川大学との連携による啓発イベント参加枠の拡大

イ 神奈川区民まつりを活用した脱炭素啓発の実施

（10月11日）

環境関連のブースを集めたエリアの設置

ウ 横浜FCとのECOパートナー協定に基づく主催試合

での啓発ブース出展（5月17日）



【令和7年度神奈川区民まつりでの脱炭素啓発】

●関連事業

・花と緑あふれるまちづくり事業 【P.14参照】

公園愛護会と小学校が連携し、コンポストによる堆肥づくり、公園の花壇づくりを通じて、環境循環や緑の大切さを子どもたちに伝えます。

・チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 【P.15参照】

「わが町かながわマナー違反一掃作戦」における大学等との連携推進や、小・中・高生等向けのゲーム性を取り入れた体験型イベントなどを実施し、若年層の環境意識を高めます。

(2) 地産地消推進事業 176千円（228千円）

ア 区内産野菜等の出張販売の実施

協力：J A横浜メルカートかながわ

野菜、花苗の販売

（年3回：①5月27日 204人、②11月20日、③調整中）

イ 直売所の紹介冊子等の広報媒体を活用した周知

12 花と緑あふれるまちづくり事業

5,607千円（7年度 4,977千円）

☆重点事業

土木事務所

子育てしたいまちづくりや横浜グリーンエキスポの開催に向け、道路・河川・公園・緑地等を管理するボランティア団体と協働し、区民が公園等で花や緑に触れる機会を増やすとともに、ボランティア団体の新たな担い手の確保、活動の活性化につなげます。

(1) 花苗・球根の配布 4,222千円 (3,314千円)

区民が公園などの公共施設で花や緑に触れる機会を増やすため、ボランティア団体に花苗・球根を配布します。

ア 公園愛護会、水辺愛護会、ハマロード・サポーターへの花苗・球根の配布

配布時期（配布数）：

5月21日・22日（花苗8,628株）、

10月22日・23日（花苗1,372株、球根32,000球）



【公園愛護会による花苗の植栽】

(2) 公園及び愛護会活動PR 1,229千円 (1,509千円)

公園の魅力や公園愛護会による活動のPR、子どもと公園愛護会との協働による花壇づくり等を通じて、区民が公園を訪れ、花や緑に親しむ機会を増やすとともに、公園愛護会活動の新たな担い手確保につなげます。

ア 公園の魅力的なスポットや公園愛護会活動の写真撮影（4月～6月）及び区ホームページ内の公園マップへの掲載（6月～12月）

イ ごみから堆肥をつくる体験学習と公園愛護会との花壇づくりをセットにした小学校での出前授業

（浦島小学校、神奈川小学校で各4回：

5月～6月 各2回）

ウ 地域住民と愛護会との協働による、イベントを組み合わせた樹林地の保全活動

（菅田いでど公園、松見みはらし公園で計5回：

4月～8月 3回）



【小学生と公園愛護会の協働による花壇づくり（菅田みどりの丘公園）】

(3) ボランティア団体の交流の促進 156千円 (154千円)

公園愛護会の育成や活性化のため、花壇づくり等の講習や活動の情報交換、活動表彰等を行う交流会を実施（12月14日）

13 チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり 3,720千円（7年度 2,820千円）

☆重点事業

地域振興課

SDGsの達成と脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりを推進します。ごみ・資源の分別徹底やプラスチック対策、食品ロス削減などの3Rを進めるとともに、地域・企業・学校などと協働し、清潔できれいなまちづくりを進めていきます。

(1) ヨコハマ3R啓発事業 375千円（425千円）

ごみ・資源の分別徹底、プラスチック対策、食品ロス削減など3Rの取組を推進します。

ア 地域まつり等での啓発（年6回：①6月6日、イオンスタイル東神奈川 ほか5回）

イ 保育所や小学校での出前授業（年10回：4月～7月 7回、延べ400人）

ウ 広報よこはま神奈川区版・ホームページ等を活用した啓発（4月、8月）

エ 功労者の表彰（6月18日）、フードドライブの推進（1,668点 472.7kg）

リユース文庫コーナーの管理運営（配架470冊）

(2) 地域美化活動支援事業 3,330千円（2,380千円）

街の美化意識を高めるため、若年層への取組をはじめ地域を中心に企業・学校・団体など多様な主体と協働しながら活動を推進します。

ア 地域・学校・事業者等による自発的な清掃活動に対する支援

清掃用具等貸出（30件）、地域清掃への参加（22回）

イ 「わが町かながわマナー違反一掃作戦」の実施（9月30日）

（ア） 地域、学校、事業者と協働で実施

（イ） 会場：イオンスタイル東神奈川、オルトヨコハマ、羽沢横浜国大駅前、
神奈川大学横浜キャンパス、

（ウ） 若い世代の意識醸成（大学生による会場運営、清掃参加）

ウ 民間のノウハウを活用し、「ミッションクリア型清掃イベント」の実施

小・中・高生等向けにゲーム性を取り入れた体験型イベント

（7月11日、反町公園、75人）

エ 新子安駅周辺におけるポイ捨て防止・環境美化対策

「新子安駅周辺美化推進GROUP」による清掃活動や啓発を実施

（年3回：①5月29日）

オ 喫煙禁止地区（東神奈川駅周辺）における地域、企業と連携した啓発（2回）

カ 喫煙禁止地区以外の場所における「ポイ捨て禁止」啓発

片倉町駅（年4回：①6月5日）、大口駅（年6回：①5月12日、②7月14日）

(3) 不法投棄防止対策事業 15千円（15千円）

ア 不法投棄多発箇所の不法投棄監視カメラの運用（4か所）

イ 地域及び資源循環局神奈川事務所と連携した不法投棄への対応（90件 1.66t）



【わが町かながわマナー違反一掃作戦】



【「新子安駅周辺美化推進GROUP」
による清掃活動】



【ゲーム感覚ごみ拾いイベント「清走中」】

14 神奈川区制100周年記念事業 5,120千円（7年度 1,200千円）☆重点事業

区政推進課

これまでの100年を振り返りながら、次の100年の区政の推進に向け、地域や区内企業・団体とともに区制の節目を祝います。また、神奈川区とともに区制100周年を迎える4区や局との連携、横浜グリーンエクスポと連動した取組を進めます。

令和9年に神奈川区とともに区制100周年を迎える4区：鶴見区、中区、保土ケ谷区、磯子区

(1) 神奈川区制100周年記念事業 5,120千円（1,200千円）

ア 区の100年の歴史を振り返り、広報等による情報発信

(ア) 広報よこはま神奈川区版への特別連載（6月号から3月号まで）

(イ) 啓発の実施（パネル・のぼり・ポスター製作、
横断幕・懸垂幕制作等）

イ 「神奈川区制100周年記念事業実行委員会」による PR活動への支援

(ア) 神奈川区制100周年記念Instagramフォトコンテスト
(募集期間：8月3日～10月30日)

(イ) 神奈川区制100周年記念小中学生ポスターコンテスト
(募集期間：7月1日～10月2日)

ウ 100周年記念デザインマンホール設置

エ 横浜グリーンエクスポの開幕にも合わせ、100周年記念と して植樹を実施



【Instagramアカウント】



●区制100周年に関連する取組

・区の花チューリップいっぱい事業

【P. 18参照】

100周年を沢山のチューリップで彩るため、球根の配布対象を区内の小学校に加え、区内中学校に拡大します。あわせて区民向けには従来と異なる品種の球根を配布予定です。

・デジタル技術（VR/AR）を活用した神奈川台場のPR

【P. 18参照】

歴史継承イベント等を実施し、開国の舞台となった神奈川区、台場の歴史を区民向けに発信します。

・神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

【P. 20参照】

区民参加による「わが町 かながわ とっておき」をリニューアルします。

15 地域力アップ推進事業 2,458千円（7年度 2,600千円）

区政推進課

地域振興課

自治会町内会をはじめとする地域で活動する様々な団体と区役所等が連携して地域課題の解決に取り組む「協働による地域づくり」を進めるため、人材を育て、地域活動を支援します。

(1) つながりまちづくり学校運営事業 1,498千円（1,528千円）

地域活動について学ぶ講座の開催や講座卒業後の支援を通じて、地域活動を担う人材の育成に取り組みます。

ア 現場体験を含むプログラムの実施（全5回：①10月18日、②11月15日、③12月20日、④1月24日、⑤2月21日）

(ア) 基礎講座及び地域活動団体への現場体験

(イ) 交流会の開催（全2回：①11月15日、②2月21日）

《参考》

令和7年度までの卒業生数（旧地域づくり大学校も含む）：261人

イ かながわ地域支援補助金事業（5団体）

講座卒業生への補助金の交付

（つながりまちづくり学校（旧地域づくり大学校）卒業生支援コース）



【令和7年度つながりまちづくり学校】

(2) 自治会町内会ICT支援事業 960千円（750千円）

自治会町内会等による活動情報の発信を支援することで、住民が地域活動に触れる機会を広げ、地域の新たな担い手の発掘につなげます。

ア デジタルツール活用講座の開催

（基礎編：8月30日）

（実践編：9月13日、午前・午後）

自治会町内会等を対象としたデジタルツールによる地域課題の解決の可能性や効果的な情報発信について学ぶ講座

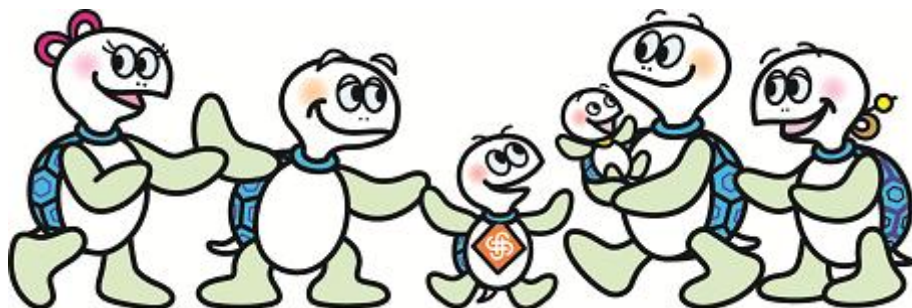


【令和7年度自治会町内会ICT支援事業での講座】

イ ICTアドバイザー派遣の実施（10月～）

(ア) 自治会町内会を対象としたアドバイザー派遣

(イ) デジタルツールの導入・活用を検討する団体に対する個別支援



区の取組や区政情報を、各種媒体を使って効果的に発信します。また、区内の様々な資源を活用し、神奈川区の魅力を創出・発信します。

(1) 情報発信事業 1,703千円（771千円）

- ア ホームページ、SNS、屋外看板や庁内モニター等、媒体の特性を活かした情報発信
- イ 区民生活マップの更新（隔年で更新：3月）



【軽量で通気性の良いバルーンタイプの着ぐるみ】

(2) 区のマスコットキャラクター活用事業 298千円（1,298千円）

- ア 「かめ太郎」の着ぐるみ貸出・イラスト(素材)の提供
- イ 区の魅力PR用物品の制作

(3) 区の花チューリップいっぱい事業 1,545千円（1,045千円）

区の花であるチューリップを、写生画展や球根の配布を通じて普及啓発します。

今年度配布する球根は、区制100周年を迎える令和9年春に開花予定であるため、区制100周年記念事業の一環として従来とは異なる品種を採用し、配布数も拡大して実施します。

- ア 区の花「チューリップ」写生画展
区内小学生対象、受賞作品を区内公共施設等で展示
(7月31日～8月12日 神大寺地区センター、8月13日～24日 神之木地区センター)
- イ 区内中学校及び私立小学校にチューリップの球根を配布（10月）
区内公立小学校には、みどり環境局予算で実施
- ウ 区民向けに球根を配布・育成してもらい、区の花チューリップの普及啓発を実施（10～11月）

(4) 歴史活用事業 1,090千円（1,090千円）

- ア 旧東海道・歴史史跡等を活用したイベントの実施（11月）
- イ 歴史パンフレット「神奈川宿歴史の道」「かながわ歴史亀さんぽ」を活用した広報（通年）
- ウ 歴史の道ガイドパネル等の補修（通年）
- エ デジタル技術（VR/AR）を活用したイベント及び学校教材による神奈川台場のPR
5月26日 公開セレモニー（市庁舎）
6月6日 環境月間イベント（イオンスタイル東神奈川）
10月11日 神奈川区民まつり（反町公園）
10月18日 神奈川大学イベント（横浜キャンパス）
郷土学習映像について、市内の歴史関連施設や
小学校での放映を実施



【郷土学習映像】

17 まちづくり推進事業 3,772千円（7年度 3,666千円）

区政推進課

各地域の特性や課題、ニーズを把握し、魅力あるまちづくりを進め、「住みたい」「住み続けたい」まちを実現します。

(1) 企画調整・まちづくり事業 1,000千円（1,000千円）

「住みたい」「住み続けたい」まちづくりの施策に活かしていくことを目的に、これまでの調査データの分析結果等をふまえた区の課題を検討します。

(2) 歩行者ネットワーク強化事業 2,772千円（2,666千円）

国有地及び市場用地の土地を使用し、利便性や防災性、回遊性の向上を目的とした歩行空間の維持を行います。

18 わが町かながわ商店街魅力発信事業 1,930千円（7年度 1,930千円）

地域振興課

来街・来店機会を創出することにより、魅力ある商店街や個店を知ってもらい、コミュニティの活性化を図ります。

(1) 商店街ラリー事業 1,930千円（1,930千円）

横浜グリーンエキスポ開催にちなんで、「グリーン」にまつわる商品を扱う店舗を対象として、スタンプラリー（神奈川区商店街グリーンラリー）を開催し、商店街の魅力発信を行います。（11月～1月）

あわせて、神奈川区商店街キャラクターを使った「かごにゃんを探せ！」も同時に実施します。



【冊子・ポスター（参考：令和7年度神奈川区商店街花ラリー）】

【神奈川区商店街キャラクターかごにゃん】

19 神奈川区資産「わが町 かながわ とっておき」活用事業

2,220千円（7年度 1,920千円）

地域振興課

区民、特に若い世代の地域への関心や愛着を深めるため、神奈川区の魅力資産をまとめた「わが町 かながわ とっておき」を活用した事業を実施します。

(1) わが町かながわとっておき実行委員会補助 1,800千円（1,500千円）

神奈川区の魅力の発信や若い世代の地域への関心、愛着を深めるイベント開催など、地域の方々と組織する「わが町 かながわ とっておき実行委員会」が行う事業を支援します。

ア 区民参加による「わが町 かながわ とっておき」のリニューアル

イ 小中学生お弁当アイデアコンテストや神奈川区内の魅力を発信する企画を実行委員会
協議の上実施

ウ 専用ホームページによる魅力発信

(2) 「わが町かながわとっておき」写真コンテスト 420千円（420千円）

「神奈川区らしい」「神奈川区ならではの」魅力をPRする写真コンテストを実施します。また、横浜グリーンエキスポ開催に向けて花部門も継続して募集。さらに、コンテスト入賞作品を区内各所で巡回展示します。（8月～3月）

20 神奈川区民まつり事業 4,000千円（7年度 4,000千円）

地域振興課

区民が地域の魅力を発見し、「わが町かながわ」を再認識する機会となるよう、区民が主体となって企画・運営する神奈川区民まつりの開催を支援します。また、区民まつりの場を活用して、脱炭素、横浜グリーンエキスポの機運醸成・来場意識の向上等にも取り組みます。

(1) 神奈川区民まつり 4,000千円（4,000千円）

ア 実行委員会や各運営部会との連絡調整

イ 会場等の利用支援

会場エリアを反町公園に加えて、
横浜銀行アイスアリーナまで拡大予定

ウ 開催日

令和8年10月11日（日）

午前10時から午後3時30分まで

エ 開催内容

各種団体によるブース出店

（物販、飲食販売、ゲーム、相談ブース等）

ステージプログラム



【令和7年度開会式】



【令和7年度ブース出店状況】

区民活動支援センターは地域の中間支援組織として、地域施設間の連携を図りながら効果的な地域支援に取り組みます。また、区民が自発的に行う文化・スポーツ・青少年育成等の活動や生涯学習を支援し、もって地域課題の解決や魅力ある地域づくりを目指します。

(1) 区民活動支援センター事業 2,484千円（2,444千円）

- ア 地域活動に関わる個人・団体等からの相談対応
- イ センター登録者・団体と地域をつなぐ為の場の提供
- ウ ホームページやSNS、広報よこはま神奈川区版等を活用した情報発信
- エ 区内区民利用施設（36施設）を対象とした地域施設間連携会議の開催（年2回）
- オ かながわ湊フェスタ開催支援（11月1日、神奈川公会堂）

(2) 文化・読書活動支援事業 1,489千円（1,220千円）

- ア 文化協会支援
文化協会が実施する事業への支援（4事業）

イ 読書活動推進

- (ア) 読書に親しむきっかけとなる講演会等の開催（2月、神奈川公会堂）
- (イ) バリアフリー絵本制作ワークショップの開催（全5回：①7月29日、②8月5日、
③8月7日、④8月17日、⑤8月24日、延べ49人）
- (ウ) 神奈川区民の推薦図書キャンペーン（1～3月）

第三次神奈川区読書活動推進目標

目標1

未来を担う
子どもたちの
読書活動の推進

目標2

あらゆる人が
読書に親しみ
楽しむ機会の充実

目標3

読書活動の
拠点の強化と
連携促進

(3) スポーツ振興事業 1,380千円（1,110千円）

- ア 区スポーツ協会支援
種目別団体の活動支援（団体数14、事業数73）
- イ トップスポーツチームとの連携
区民デいの開催（年4回）
①横浜エクセレンス：4月4日、4月5日
②横浜F C：11月21日
③横浜ビー・コルセアーズ：12月7日
④横浜キャノンイーグルス：調整中）



eB-CORSAIRS

【区民デいで連携しているトップスポーツチーム】

(4) 生涯学級事業 872千円（872千円）

- ア 生涯学級運営委員会の企画運営による区民向け連続講座
（3学級）
- イ 生涯学級運営委員会対象のスキルアップ講座・交流会
（年2回）



【令和7年度生涯学級連続講座
「チアアップ～ひとむすび～」】

(5) 青少年育成事業 362千円（542千円）

- ア 子ども会育成連絡協議会支援
子ども会育成連絡協議会が実施する事業や研修への支援
- イ B-SKY FES支援
青少年によるバンド演奏やダンス等の自主的な活動を発表するイベント
「B-SKY FES」の開催支援（9月6日、神奈川公会堂）

22 地域活動支援事業 3,091千円（7年度 3,160千円）

地域振興課

防災・減災、防犯、地域美化など、地域において公益的活動をしている自治会町内会に対し必要な支援を行います。

(1) 自治会町内会長感謝会 1,493千円（1,347千円）

ア 区政・市政への運営協力に対し感謝の意を表するため年1回実施（2月）

イ 5年以上の会長在職者について区長表彰を実施（2月）

(2) 自治会町内会活動支援事業 1,598千円（1,813千円）

ア 自治会町内会配送業務

各自治会町内会に月1回（8月、12月を除く）会長宛の資料や掲出依頼物などを配送

イ 自治会町内会加入促進事業

（ア） 加入促進のチラシや啓発グッズを転入者セットとして配布、また地区連合の自主イベント等における参加者配布用に提供

（イ） 自治会町内会加入促進として横浜市電子申請・届出システムを活用した支援

23 動物適正飼育推進事業 209千円（7年度 214千円）

生活衛生課

犬猫の飼い主に対する適正飼育啓発及び飼い主のいない猫による地域トラブルの解決支援を行います。

(1) 犬猫の適正飼育啓発事業 154千円（159千円）

ア チラシやマナープレート、トイレパックの配付による犬の適正飼育方法の啓発
犬の啓発チラシ（4,000部）、啓発用トイレパック（500枚）

イ しつけや健康管理、災害への備えなど日頃からの飼育管理について学ぶ講演会を実施
（11月15日）

ウ 福祉関連部署との連携による多頭飼育問題への早期発見や不適正飼育の予防

エ 広報よこはま神奈川区版での啓発（3月）

(2) 飼い主のいない猫に係る問題対策事業 55千円（55千円）

ア 猫を起因とするトラブルが起きている地区での町内会等への不妊去勢手術実施の支援

イ 地域でのふん尿トラブルの解決支援として超音波式侵入防止器を貸出（3件）

ウ 横浜市地域猫活動支援事業登録地域の円滑な活動の支援

エ 広報よこはま神奈川区版での啓発（1月）

24 地域防災力向上事業 21,824千円（7年度 23,200千円） ☆重点事業

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課 生活衛生課

区民が防災・減災を自らのこととして捉え、震災や風水害に備えて適切な行動がとれるよう、横浜市地震防災戦略も踏まえ自助・共助・公助に係る取組を推進します。

あわせて、地域、医療機関、民間事業者等との連携により、地域防災力の向上を図ります。

(1) 地域防災力の強化 16,115千円（16,070千円）

ア 自助の推進

- (ア) SNS等を活用した防災情報の発信
- (イ) 「自分てつくるmy防災マップ」配布等
- (ウ) 防災アドバイザー派遣事業

イ 共助の推進

町の防災組織の活性化及び地域防災拠点の運営力の強化を図るため、共助の取組を後押しします。

(ア) 「神奈川区共助推進事業」補助金

町の防災組織への補助メニューを拡充し、自主避難所の開設支援や安否確認アプリの導入を追加



【防災情報をXにて発信】

補助メニュー	補助率	補助上限額	申請数 (7月末時点)
資機材購入・防災施設見学等	2 / 3	15万円または25万円 ※過去3年で補助金を申請したことがある団体は上限15万円	6 件
自主避難場所開設支援	3 / 4	25万円	3 件
安否確認アプリ等導入	10/10	25万円	0 件 (相談有)

(イ) 地域防災拠点の機能強化

発災時にスムーズな拠点開設ができるよう、開設時の手順書となる「開設アクションカード」を制作

ウ 次世代につなぐ防災

次世代の担い手育成として、小中学校と連携し、防災出前講座や体験型学習を行い子どもへの教育と同時に子育て世代への啓発を進めます。

(ア) 防災教育による担い手育成

- a 小学生を対象に避難所生活の模擬体験ができる「防災デイキャンプ」を実施（9月12日、市民防災センター）
- b 中学生にはワークショップ型の防災出前授業を実施
6月17日（水） 錦台中学校
7月31日（金） 浦島丘中学校①（来訪）
8月5日（水） 浦島丘中学校②（来訪）



【防災デイキャンプ】



【ワークショップ型出前講座】

(イ) 子育て世代に向けた啓発の取組

a 乳幼児子育て世帯向け家具転倒防止普及啓発事業

出生を契機に自助の取組を推進していただけるよう家具の固定の重要性を記載した啓発グッズ等を配付（ドアロックストッパー：404個）

b 地域育児教室と連携した防災啓発

区内12か所で実施している地域育児教室を活用し、乳幼児向けの防災備蓄の重要性や在宅避難に向けた自宅の防災対策について啓発を実施（3回、延べ親子23組）

(2) 区役所災害対応力の強化 4,295千円（4,731千円）

ア 職員向け訓練・研修

(ア) 転入職員向け研修（4月）

即応班研修（4月20日・21日）

(イ) 地域防災拠点参与等研修（6月4日）

(ウ) 風水害避難場所運営訓練（6月15日）

(エ) 地域防災拠点動員者向け研修（8月19日）

(オ) 初動対応及び区災害対策本部運営訓練（9月、1月）

(カ) 区本部各班訓練

イ 区本部運営に必要な物資やマニュアルの整備



【区災害対策本部運営訓練】

(3) 災害医療の体制の確立 618千円（401千円）

ア 災害医療に係る機関や団体との連携

(ア) 神奈川区災害医療連絡会議（3月）

(イ) 医療救護隊の活動に必要な物資の整備

(ウ) 災害支援者のつどい（9月）

イ 災害医療訓練

(ア) 区災害医療訓練（11月、2月）

参加機関：区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会等（予定）

(イ) 医師会、医療機関との情報受伝達訓練（年4回：①6月 ほか3回）

(ウ) 災害医療のぼり旗掲出訓練（11月）

協力機関：区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会

ウ 普及啓発

(ア) 地域防災拠点訓練等での災害医療講話

(イ) 広報よこはま神奈川区版で横浜市災害支援ナース登録勸奨（11月）

(4) 災害時要援護者支援（取組支援）252千円（252千円）

ア 新規協定締結の促進【協定締結団体：114団体（令和8年8月末時点）】

(ア) 新規に名簿の受領を希望する自治会・町内会との協定締結（通年）

(イ) 名簿の年次更新及び個人情報の保護と活用に関する研修会（3回）

イ 災害時要援護者支援事業助成金の交付（通年）

発災時の安否確認や避難・救出活動を円滑に行うための訪問や訓練等にかかる経費を助成（世帯数により上限20千円～80千円）

(5) 福祉避難所関連事業 215千円 (969千円)

要援護者の二次的避難所である福祉避難所（対象施設：区役所と協定を締結している高齢者施設、障害者施設、地域ケアプラザ等）の安定した運営を推進します。

【福祉避難所 協定締結数：25施設（令和8年8月末時点）】

ア 福祉避難所開設・運営訓練

（11月25日、特別養護老人ホーム菅田心愛の里）

イ 福祉避難所連絡会（2月）

ウ 福祉避難所情報共有システム情報受伝達訓練（2月）



【福祉避難所開設・運営訓練】

(6) 災害時のペット対策 329千円 (354千円)

ア 地域防災拠点における災害時のペット対策支援

(ア) 地域防災拠点運営委員会総会にて災害時のペット対策の必要性を運営委員に啓発
（5月15日）

(イ) 地域防災拠点等におけるペット一時飼育場所用開設キットの配布による支援
（9拠点：新規1拠点）

(ウ) 地域防災拠点訓練時における、ペット同行避難訓練の支援（9月以降）

イ 飼い主への災害時ペット対策の啓発

(ア) 日頃の備えの啓発として、「飼い主向け災害時ペット対策啓発リーフレット」を作成（2,500部）

(イ) 広報よこはま神奈川区版で災害時に備えたしつけや避難物品の準備について啓発
（9月）

(ウ) 地域防災拠点訓練や地域イベント等にて、災害時ペット対策を啓発
（区役所パネル展1回、地域イベント2回）



【ペット一時飼育場所用開設キット
内容イメージ】

●関連事業

・動物適正飼育推進事業 【P.22参照】

災害に備え、しつけなど日頃の準備のための講演会を実施（11月15日）

25 神奈川区防犯対策事業 3,540千円（7年度 3,801千円）

地域振興課

地域による自主的な防犯活動を支援し、警察等関係機関と連携を密に図りながら、犯罪発生状況に応じた情報の提供及び啓発活動などの防犯対策を推進します。

(1) 住みよいまちづくり活動助成事業 2,540千円（2,501千円）

地域による安全で安心なまちづくり活動を推進するため、21地区連合自治会町内会が行う防犯活動・青少年の健全育成・3R推進活動等に対して助成金を交付（7月～9月）

(2) 刑法犯罪被害・特殊詐欺被害防止啓発事業 1,000千円（1,300千円）

ア 特殊詐欺等防犯啓発情報のメール配信（通年）

イ 広報よこはま神奈川区版等による防犯啓発

夏休み子ども防犯啓発（7月）、特殊詐欺（1月）、
刑法犯罪（2月）、SNS型詐欺（3月）

ウ 地域での防犯活動に必要な物品

（帽子・ベスト・のぼり旗等）の貸与・配布（通年）

エ 神奈川区地域安全のつどい（12月）

オ 自治会町内会等への防犯啓発チラシ・物品配布（通年）

カ その他区内の犯罪発生状況に応じた啓発（通年）



【令和7年度神奈川区地域安全のつどい】



【防犯啓発のぼり旗】



【詐欺被害防止啓発チラシ】



【侵入盗被害防止啓発チラシ】

26 交通安全対策事業 4,834千円（7年度 4,734千円）

地域振興課

土木事務所

神奈川区における安全な道路交通環境の実現を目指して、地域、警察、関係団体等と連携し、交通事故発生件数の減少に向けた啓発・対策を行います。

(1) 交通安全啓発事業 917千円（717千円）

- ア 交通安全教室啓発（4月～6月、11月）
希望する小・中学校等を対象に実施
（実施予定：小学校20校、中学校2校）
- イ 交通安全チラシ及び啓発物品の購入・配布（通年）
- ウ 広報よこはま神奈川区版を活用した啓発
（4月、5月、7月、12月）
- エ 警察と連携した交通安全啓発キャンペーン（通年）



【小学校での交通安全教室】



【警察と連携した交通安全啓発キャンペーン】



【二輪車事故防止キャンペーン】



【配付した交通安全啓発物品】

(2) 児童通学路整備事業 3,466千円（3,466千円）

- ア 各小学校で実施している協議会の助成
（交付予定：17団体 各20千円）
スクールゾーン対策協議会（7月～10月）
- イ 通学路内の路面標示の補修（通年）



【通学路 路面標示の補修】

(3) 自転車等放置防止推進協議会助成事業 400千円（400千円）

区内主要駅周辺での啓発活動を実施する協議会に対する活動費助成
（交付予定8団体：4月～7月、5団体 各50千円）

(4) 神奈川区交通安全対策協議会事業 51千円（51千円）

- ア 神奈川区交通安全対策協議会開催（5月13日）
- イ 交通安全功労者表彰（5月13日）
（表彰：個人4名、団体4団体）



【神奈川区交通安全功労者表彰】

Ⅳ 信頼される区役所づくり 10,510千円（7年度13,335千円）

27 かながわデジタル推進事業 3,213千円（7年度 4,344千円）

総務課

神奈川区の窓口におけるデジタル化の推進により、来庁者の利便性向上や混雑緩和を図ります。

(1) 区役所デジタル化推進 3,213千円（4,344千円）

- ア 窓口混雑状況や呼出番号をWeb上で確認できるシステムの保守・運用（通年）
- イ 来庁者用のWi-Fi及び区政広報用デジタルサイネージの運用（通年）

28 チーム神奈川おもてなし向上事業 7,297千円（7年度 8,991千円）

総務課

横浜市に求められる行政サービスの変化に対し「市民目線」で「スピード感」を持って対応できる人材を育成し、区民サービスの向上を目指します。また、来庁者が利用しやすい区役所とするため、庁舎内・庁舎周辺環境整備を進めます。

(1) 人材育成等推進事業 565千円（405千円）

- ア 転入責任職、新採用・転入職員研修（4月）
- イ 職員向けスキルアップ研修（年3回：10月ほか）

(2) 人権啓発事業 600千円（600千円）

- ア 区職員向け研修
 - (ア) 責任職研修（全体研修：6月、グループ別研修：7グループ各3回（6月～1月））
 - (イ) 職員対象研修（年7回：10月～12月）
- イ 区民向け・関係団体向け講演会（年1回：12月）

(3) 来庁者の利便性向上 6,020千円（7,986千円）

- ア 庁舎周辺の清掃や、窓口及び待合スペース等の環境改善
- イ 区の様々な情報をまとめた転入者セットの配付

(4) 区民顕彰事業 112千円（0千円）

スポーツ、芸術、文化等の分野において、顕著な功績があった方へ栄誉賞を贈ります。
（1月）

4 自主企画事業以外で実施する主な事業

〇こども青少年局

① こんにちは赤ちゃん訪問事業

生後4か月までの赤ちゃんがいるすべての家庭に対し、市長から委嘱された訪問員が、まちの子育て情報をお届けする事業です。神奈川区では地域とのつながりを意識し、各地区民生委員児童委員協議会から推薦された方を訪問員とし、「すくすくかめっ子事業」等への参加を親子に勧めています。

② 地域子育て支援拠点事業

未就学児とその保護者及び子育て支援の活動に取り組む人への支援を行う施設です。神奈川区には「かなーちえ」「かなーちえサテライト」（NPO法人 親がめが運営）があります。

③ 児童虐待防止啓発地域連携事業

児童虐待防止に関する広報・啓発、関係機関との連携強化、人材育成、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくりなどを推進し、児童虐待対策を総合的に進めます。

④ DV対策事業

DV被害者等が、安全で安心した生活を送ることができるよう、被害者の立場に立ち、相談、保護、自立に至るまで切れ目のない支援を行います。

⑤ 寄り添い型生活支援事業

養育環境に課題があり、支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等を対象に食事、歯磨き、掃除などの生活習慣の習得及び学習支援を実施します。

⑥ 横浜市認定こども園及び保育所地域子育て支援事業

育児相談、育児講座、平日の園庭開放等を実施し、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する機会を増やします。

⑦ 保育資源ネットワークの構築

保育施設のネットワークを充実させ、多様化する子育てニーズに応えるとともに、地域の子育て支援事業と連携し、子育て支援や保育サービスの質を高めます。

子ども・子育て支援新制度の下、教育、保育施設の連携を図り、施設相互の職員交流・保育士の研修等を実施します。

⑧ 妊婦等包括相談支援事業

妊娠期から出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行います。また、出産後はアンケートにより、支援が必要な方に母子保健コーディネーターを中心に電話や訪問等を行います。

⑨ 待機児童・保留児童対策

待機児童ゼロの継続等に向け、既存資源の活用や保育所等の整備を進めるとともに、保育・教育コンシェルジュ等によるきめ細やかな相談、支援を行います。

⑩ 放課後児童サポート事業

放課後キッズクラブや放課後児童クラブ等のスタッフに対して、様々な研修を実施します。

○健康福祉局

⑪ 自殺対策事業

自殺対策強化月間（9月、3月）を中心に、自殺予防のためのセルフケアやゲートキーパーとしての意識がもてるよう自殺対策に取り組みます。

⑫ 認知症地域支援推進事業（チームオレンジ）

地域ケアプラザが中心となってコーディネートを行い、認知症の人や家族の希望や願いをもとに地域における取組を進めます。各地域でチームオレンジが増えることにより、認知症の人がさまざまな活動に参画する機会を拡大して、役割と生きがいを持って、安心して自分らしく暮らせる地域づくりにつなげます。

【チームオレンジとは、認知症の人や家族の希望や願い、困りごとなどの声をもとに、その実現や解決に向けた取組を、認知症の人や家族とともに地域住民や団体、企業、関係機関等が連携して進める「本人支援」の活動のことです。】

⑬ ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業

市が保有する75歳以上の方のみで構成された世帯の高齢者の情報を民生委員及び地域包括支援センターに提供し、訪問や相談など地域における見守り活動等につなげます。

【これまで訪問は、名簿に新たに追加された75歳以上のみの（単身・複数）世帯の方を対象としていましたが、令和7年度から、試行的に訪問対象年齢を引き上げ、名簿のうち原則として新たに80歳以上のみの（単身・複数）世帯となった方又は区外から転居されてきた80歳以上のみの（単身・複数）世帯の方に訪問面談を行っています。（名簿は75歳以上のみの世帯の方の情報を掲載）】

○経済局

⑭ 商店街活性化イベント助成事業

商店街が中心となり実施するイベント事業を支援することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

⑮ 安全・安心な商店街づくり事業

商店街が維持管理する街路灯の電気・ガス料金の一部を助成することにより、商店街の発展を推進し、道路交通の安全や地域防犯対策及び都市美化を図ります。

○みどり環境局

⑯ 子どもを育む空間での緑の創出・育成事業

チューリップ写生画展に参加してもらうため、希望する公立小学校に球根を配布します。

⑰ 公園整備事業

開園又は再整備後概ね30年以上が経過した公園を対象に、公園全体を更新する再整備工事を実施しています。令和8年度は大口西公園で実施しています。

また、老朽化した施設の改良・更新を行い、公園利用の安全・安心の向上を図ります。令和8年度は、幸ヶ谷公園、滝ノ川公園、入江町公園などで実施を予定しています。

○建築局

⑱ 管理不足空家等の防止・解消対策の推進

令和6年3月に「第3期横浜市空家等対策計画」の策定をしており、①空家化の予防、②空家等の流通・活用促進、③管理不足空家等の防止・解消の3つを柱とした「総合的な空家等対策」の取組を進めています。

令和7年度は、自身での管理が困難な所有者向けに、空家の管理代行事業者を募集し、リストにしてホームページ上で公開する制度を開始しました。

令和8年度は、近隣の空家でお困りの方向けの相談受付コールセンターの実施などに取り組んでいます。

○道路・交通政策局

⑲ 道路修繕事業

三枚町（主要地方道横浜生田線）や菅田町などにおいて、幹線道路や生活道路の傷んだ舗装の補修を行い、安全性の確保や交通の円滑化、騒音振動の解消を図ります。

⑳ 道路改良事業、都市計画道路の整備

片倉六角橋線（神大寺地区）については、令和7年度内に全ての用地取得が完了し、令和8年6月に暫定歩道の整備を行いました。今後、電柱などの占用物の移設を行い、令和9年度より本体工事に着手し、早期完成を目指します。

また、六角橋線（六角橋地区）については、令和7年10月に、関連する地域にお住まいの皆様を対象とした、事業に関する説明会を開催しました。令和8年度は、道路整備に必要な用地について、地権者の皆様と用地交渉を行うために、用地の測量作業を進めています。

㉑ 横浜市シェアサイクル事業

株式会社ドコモ・バイクシェア及びOpenStreet株式会社と協定を締結し、横浜市シェアサイクル事業を公民連携で実施しています。令和8年度は、令和7年度の取組の効果検証を実施し、その検証結果を踏まえた効果的なサイクルポートの設置を積極的に進め、更なる利便性の向上を図ります。

さらに、区と連携した広報等も行い、利用促進を図ります。

㉒ みんなのおでかけ交通事業（地域交通）

「よこはま次世代交通システム推進協議会」（一般社団法人北陸SDGs総合研究所、企業、大学等で構成）と協定を締結し、羽沢横浜国大駅南側エリアにおける地域交通の実現に向けた検討を進めてきました。令和8年10月1日から、AIオンデマンド交通「ふらっと羽沢・上星川」の実証運行を開始する予定です。

○都市整備局

②③ 東高島駅北地区開発事業

平成30年度に土地区画整理組合が設立認可され、埋立工事を含めた区画整理工事を進めてきています。

令和7年度は、新設橋梁の架設、鉄道施設の撤去・移設などを進めてきました。

令和8年度は、地区内の道路整備や隣接する踏切の拡幅工事など引き続き基盤整備を進めています。

②④ まちの不燃化推進事業

地震火災における被害の軽減に向け、延焼の危険性が特に高い地域において、「横浜市不燃化推進地域における建築物の不燃化の推進に関する条例」に基づく防火規制とともに老朽建築物の除却や建替の工事費の一部補助などを行っています。また、六角橋商店街地区や六角橋北町地区等における協働による防災まちづくり活動の支援を継続するとともに、地域と協働でつくる防災型公園の整備（六角橋六丁目公園）を進めます。

○教育委員会

②⑤ 青木小学校の不足教室対策

青木小学校は、通学区域内におけるマンション開発の影響で児童が増加しており、教室不足が生じる見込みとなりました。そこで「青木小学校」学校規模適正化等検討部会を設置し、具体的な対応策の検討を行いました。

検討の結果、通学区域を変更することが望ましいとの方向性が示され、検討部会としての「意見書」が取りまとめられました。その後、教育委員会で審議を行った結果、意見書記載の事項については、原案どおり承認されました。

承認された新たな通学区域は、令和8年8月5日から施行されており、施行日以降に転入する児童及び令和9年度に入学する新1年生が対象となります。

なお、通学区域変更に伴う通学安全対策は、今年度中に実施予定です。

○下水道河川局

②⑥ 下水道管きょ維持管理事業

災害時に必要な物資等を輸送するための緊急輸送路などに敷設された下水道管の耐震化を進めています。令和8年度は国道1号などで耐震化を予定しています。

下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、全市域を対象とした調査結果等に基づき、老朽化の進捗度や発見した不具合の内容に応じて計画的に、下水道管（本管及び取付管）の再整備を実施しています。

令和8年度は松本町から反町、神奈川から栄町、入江町から神之木町、鶴屋町周辺などで工事を実施します。

②⑦ 横浜駅周辺地区における下水道整備

市内で最も都市機能が発達し集積している横浜駅周辺地区（エキサイトよこはま22）では、目標整備水準を時間降雨量約82mm（30年に1回の降雨）に引き上げ、下水道施設の整備を進めます。

引き続き、令和8年度は神奈川公園等でエキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線の整備を進めます。また、鶴屋町周辺で枝線の能力を増強する工事及び、金港町、栄町周辺で試掘工事及び、集めた雨水を海域へ放流するため、東高島駅北地区土地区画整理事業地内で新たに東高島ポンプ場の整備を進めます。

○医療局

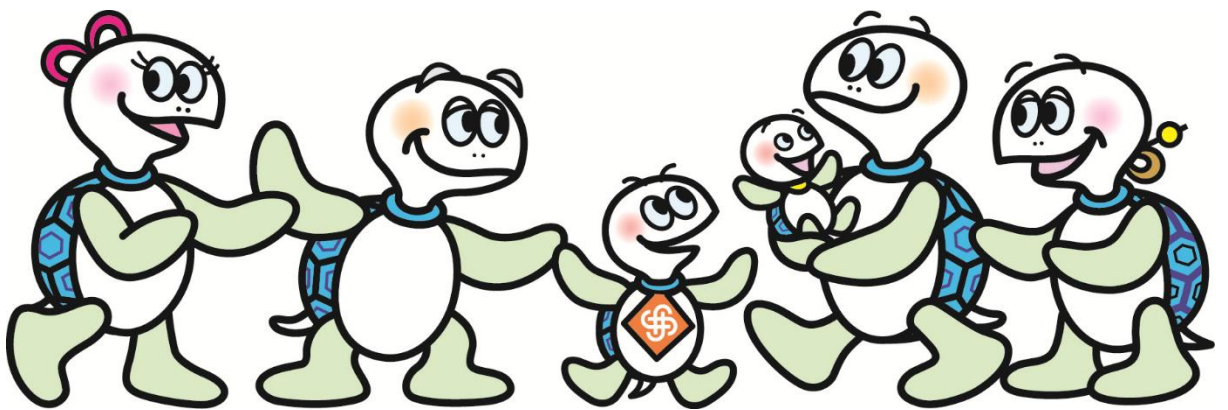
⑳ 地域猫活動支援

飼い主のいない猫による問題が発生している地域に対し、地域の理解と協力のもと、不妊去勢手術の徹底、エサやふん尿の管理など、地域で作成したルールに基づいて適切に管理し、猫の数を減らして問題解決を図る「地域猫活動」を支援します。

登録された支援対象組織には、対象とする飼い主のいない猫に対し、横浜市動物愛護センターで不妊去勢手術を無料で行うなどの支援を行います。

㉑ 飼い主のいない猫の不妊去勢手術及びマイクロチップ装着推進

飼い主のいない猫の不妊去勢手術を促進し、個体数の減少と地域トラブルの軽減を図ります。また、手術した猫の保護とマイクロチップ装着を進め、屋内飼育と所有者明示を促進します。そのため、飼い主のいない猫の不妊去勢手術及びマイクロチップ装着に要した費用の一部を助成します。



令和9年度 神奈川区区づくり予算編成の基本的考え方（案）

1 区の基本目標

「笑顔でつながる『神奈川区』」
 ～ 地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます ～

【目標達成に向けた3つの施策】

- いきいきと暮らせるまちづくり
 「地域福祉保健の推進」「子育て」「高齢者、障害児・者支援」等
- 魅力あふれるまちづくり
 「区制100周年記念事業」「グリーンなまちづくり」「地域づくり」等
- 安心・安全なまちづくり
 「防災・減災」「防犯」「交通安全対策」等

2 令和9年度予算編成にあたっての所見

- 区制100周年を迎える神奈川区への愛着を一層高める機会となる様々な記念事業に、区役所一丸となり、地域や関係団体、企業、大学等との「つながり」を活かしながら取り組みます。
- かながわ支え愛プラン（第5期神奈川区地域福祉保健計画）を引き続き推進し、「誰もが住み慣れた地域で、健やかに、安心して暮らせるまち」をつくります。
- 横浜グリーンエキスポの開催を通じて生まれた連携や育まれた環境意識などの成果を未来に継承し、新たなグリーン社会の実現を目指します。
- 少子高齢化の進展をはじめ社会情勢の変化など、市を取り巻く環境と区民の皆様の声をしっかりと把握しながら、地域特性を踏まえた課題についてデータ活用や創造・転換の視点をもって分析し、予算編成に取り組みます。
- 「施策の推進」と、財源確保とあわせた持続可能となる「財政の健全性の維持」の両立を図りながら、安心・安全で温かい元気なまちづくりを着実に進めます。